

豊橋市 予算の 見どころ

令和8年度

目次

▶ 令和8年度 豊橋市予算の紹介	03
▶ 一般会計の財政状況	05
▶ 重点的に推進する取組み	
・ 安心に包まれた子育て・教育環境づくり	12
・ 希望に満ちた仕事づくり	14
・ 定住につながるまちの魅力づくり	16
・ 暮らしを支える都市空間づくり	19
・ 市制施行120周年記念	22
・ 物価高騰対策	24
▶ 分野別計画に基づく主な取組み	
・ 豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち	28
・ 活力みなぎり、はつらつと働けるまち	33
・ 命の安全、心の安心が確保されたまち	37
・ みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち	40
・ 互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち	42
・ 魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち	46
・ 自然と共生し、地球環境を大切にすまち	49
・ 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち	52
・ 基本計画推進のために	56

※ 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

令和8年度 豊橋市予算の紹介

予算の特徴

新年度は、第6次豊橋市総合計画後期基本計画がスタートする年であり、新たに掲げる4つのまちづくり戦略を重点化事項と位置付け、目指すまちの姿「未来を担う 人を育むまち・豊橋」の実現に向けて分野別計画を着実に推進します。

重点的に推進する取組み

まちづくり戦略

安心に包まれた子育て・教育環境づくり

子どもの新たな居場所となる「とよはし陽だまりスペース」を新設し、不登校対策を強化します。また、こども未来館を魅力あふれる安全で快適な施設としてリニューアルオープンします。

希望に満ちた仕事づくり

豊橋技術科学大学の次世代半導体・センサ科学研究所「IRES²」を柱に、半導体関連事業への参入や新たな事業開発を支援します。また、官民連携による早期の産業拠点形成に向けた取組みを実施します。

定住につながるまちの魅力づくり

多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリアの整備を丁寧に推進します。また、とよはしミュージックアンバサダーと連携した野外フリーライブの開催のほか、アジア・アジアパラ競技大会を盛り上げるための様々なイベント等を実施します。

暮らしを支える都市空間づくり

豊橋新城スマートIC（仮称）の開通に向けて工事を進めます。また、大規模災害に備え、市街地から市民病院に向かう道路の無電柱化を進めるほか、被災後に早期の復興まちづくりを行えるよう、事前復興まちづくり計画の策定に取り組みます。

市制施行120周年

市制施行120周年記念事業

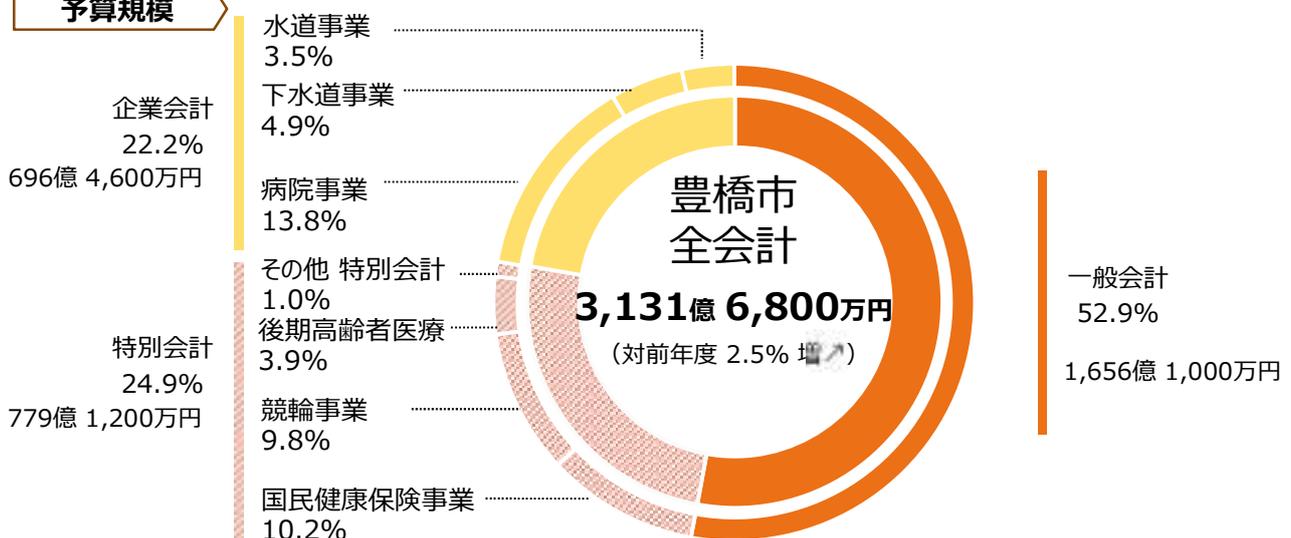
記念式典や学生が創るアニバーサリーイベントのほか、自然史博物館の特別企画展「ポケモン天文台」をはじめとする120周年を記念したイベント等を実施します。

市民生活の安定

物価高騰対策【令和7年度補正予算に計上し令和8年度に繰り越して実施する事業】

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、水道基本料金の免除やプレミアム付電子商品券の発行など、物価高騰の影響を受ける市民生活や事業者を支援します。

予算規模



会計別予算

一般会計

1,656億 1,000万円(対前年度 97億1,000万円 6.2% 増↗)

豊橋田原ごみ処理施設整備事業や総合スポーツ公園整備事業などの大型事業の進展のほか、義務的経費である扶助費や人件費の増により、全体で6.2%増加し過去最大規模となりました。

特別会計

779億 1,200万円(対前年度 10億1,800万円 1.3% 増↗)

記念競輪開催回数の減少に伴い競輪事業で減となったものの、新ゾウ舎整備の進捗に伴う総合動植物公園事業の増に加え、診療報酬改定等に伴う国民健康保険事業や後期高齢者医療の増などにより、特別会計全体で1.3%増加しました。

競輪事業	305億4,100万円 2.0% 減↘	国民健康保険事業	320億3,400万円 1.3% 増↗
総合動植物公園事業	28億1,900万円 29.0% 増↗	公共駐車場事業	2億9,900万円 54.1% 増↗
母子父子寡婦福祉資金 貸付事業	1,100万円 15.4% 減↘	後期高齢者医療	121億9,800万円 5.4% 増↗
土地区画整理換地清算費	1,000万円 91.9% 減↘		

企業会計

696億 4,600万円(対前年度 29億7,000万円 4.1% 減↘)

水道事業における水道管整備事業の増があったものの、下水道事業における下水道施設整備事業の減や病院事業における企業債償還の減などにより、企業会計全体で4.1%減少しました。

水道事業	110億 100万円 11.1% 増↗	下水道事業	153億5,900万円 11.2% 減↘
病院事業	432億8,600万円 4.7% 減↘		

〔参考〕前年度当初予算額

一般会計	1,559 億円	特別会計	768 億 9,400 万円	企業会計	726 億 1,600 万円
全会計	3,054 億 1,000 万円				

一般会計の財政状況

令和8年度 歳入の内訳

歳入総額 1,656億 1,000万円

- ・市税は、給与所得の増加に伴う個人市民税の増や、好調な企業業績による法人市民税の増のほか、家屋の新增築件数の増加に伴う固定資産税の増などを見込み、前年度比2.5%増の694億円
- ・地方交付税は、国の地方財政計画等を踏まえ、普通交付税は不交付となる見込みで令和5年度以来3年ぶりに計上を見送り
- ・市債は、ごみ処理施設整備事業や地域総合整備資金貸付事業の増などにより前年度比26.0%増の136億2,380万円

歳入

P.5~7の【 】内は、国の補正予算に伴い令和8年度当初予算の前倒しとして、令和7年度の補正予算に計上し繰り越すものを加えた額

市債 26.0%増↗
136億2,380万円 8.2%
【190億2,310万円】

学校や道路、公園などの整備のために、国や銀行から借りるお金

地方交付税 79.5%減↘
4億円 0.2%

自治体間の収入の偏りを調整するため国から交付されるお金

市税 2.5%増↗
694億円 41.9%

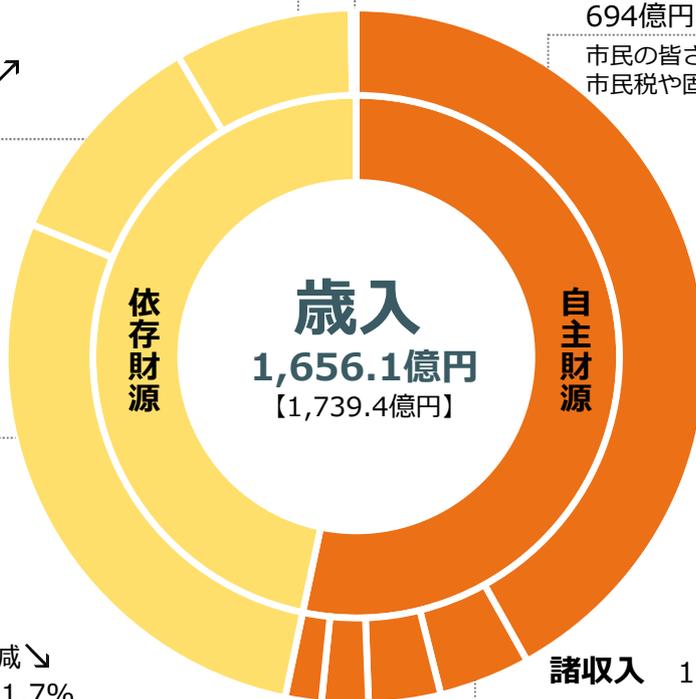
市民の皆さんに納めていただく市民税や固定資産税など

譲与税・交付金 13.3%増↗
171億1,800万円 10.3%

地方消費税など、国や県が集めた税金の一定割合が配分されるお金

国・県支出金 11.4%増↗
462億8,043万円 27.9%
【491億5,885万円】

特定の事業に対して、国、県から使いみちを指定して交付されるお金



その他 30.5%減↘
27億5,452万円 1.7%
【28億549万円】

前年度からの繰越金、寄附金など

諸収入 11.0%減↘
69億7,448万円 4.2%

貸付金の返還金、東三河広域連合からの負担金収入など

使用料及び手数料 5.7%増↗
35億5,990万円 2.1%

施設の利用料や、各種証明発行手数料など

繰入金 52.3%増↗
54億9,888万円 3.3%

基金（貯金）から取り崩すお金

自主財源 … 市が自主的に収入できる財源。この割合が高いほど安定的で自主的な財政運営が可能であるといえる

依存財源 … 国や県の基準により交付または割り当てられる財源

令和8年度 歳出の内訳

歳出総額 1,656億1,000万円

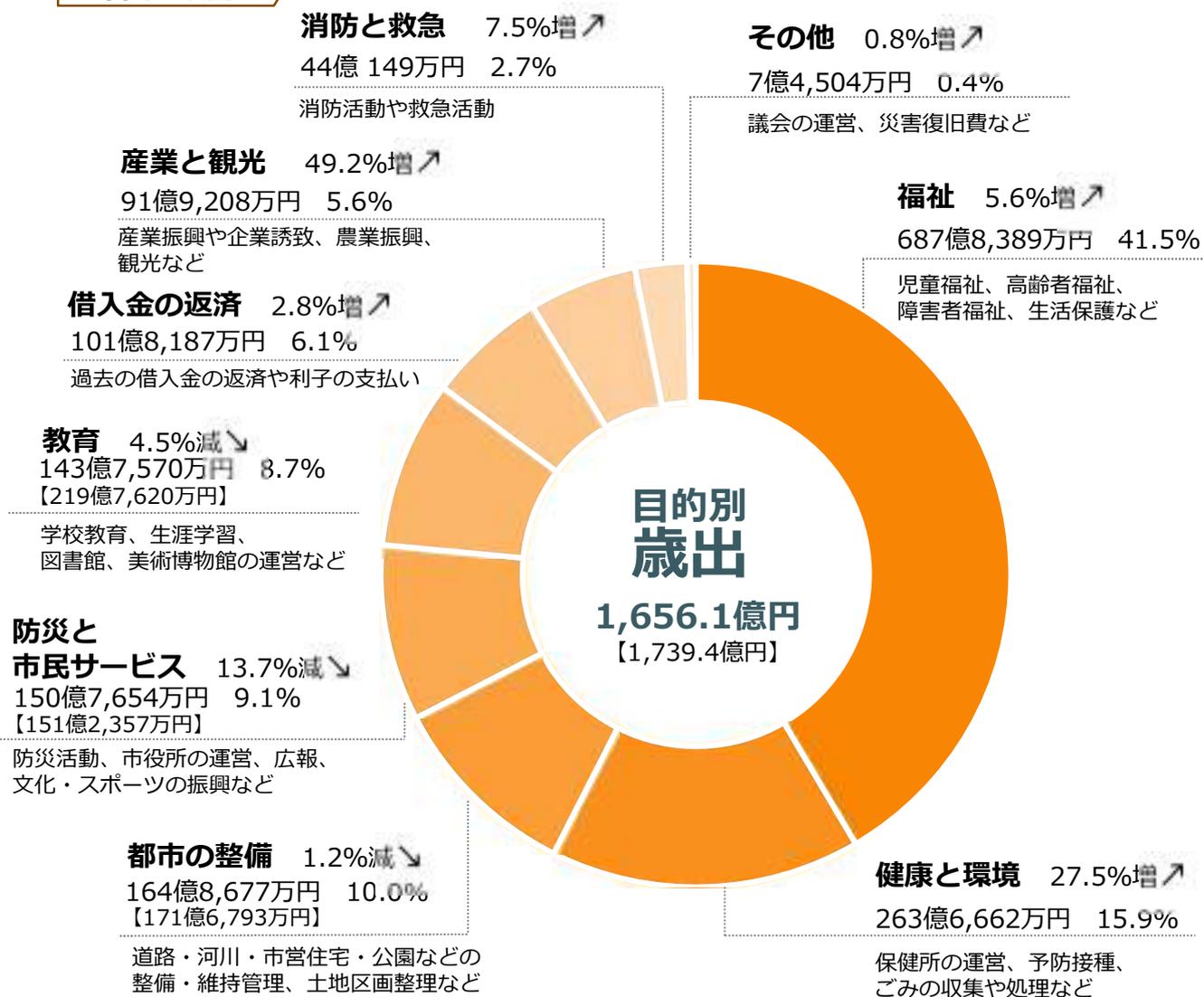
【目的別】

- 福祉（民生費）：障害福祉サービス等給付事業の増や子ども・子育て給付事業、生活保護扶助事業の増などにより5.6%増
- 健康と環境（衛生費）：豊橋田原ごみ処理施設整備事業や余熱利用施設管理運営事業の増などにより、27.5%増

【性質別】

- 義務的経費：障害福祉サービス受給者の増加に伴う扶助費の増のほか、人事院勧告に基づく職員人件費の増などにより全体で5.7%の増
- 投資的経費：豊橋田原ごみ処理施設整備事業や総合スポーツ公園整備事業、公営住宅建設事業の増などにより全体で22.1%の増

目的別歳出



性質別歳出

その他 65.0%増↗

57億7,265万円 3.5%

中小企業への融資や、基金への
積み立てなど

補助費等 8.7%減↘

99億3,712万円 6.0%

東三河広域連合負担金、各種団体
に対する負担金や補助金など

繰出金 0.8%減↘

148億5,266万円 9.0%

一般会計から特別会計、
企業会計へ支出する経費

物件費 3.3%減↘

237億1,229万円 14.3%

光熱水費や施設の管理費など

普通建設事業費・

災害復旧費 22.1%増↗

261億4,242万円 15.8%

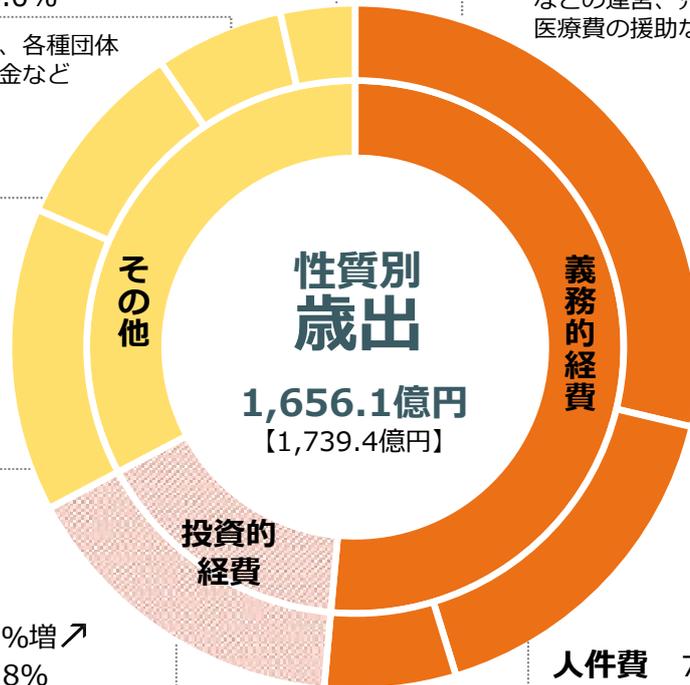
【344億7,110万円】

学校や公園、道路など公共施設の
整備や、災害からの復旧など

扶助費 5.5%増↗

475億8,755万円 28.7%

障害福祉サービス、保育園・幼稚園
などの運営、児童手当、生活保護、
医療費の援助など



**性質別
歳出**
1,656.1億円
【1,739.4億円】

人件費 7.0%増↗

274億2,345万円 16.6%

職員給与、議員報酬など

公債費 2.8%増↗

101億8,187万円 6.1%

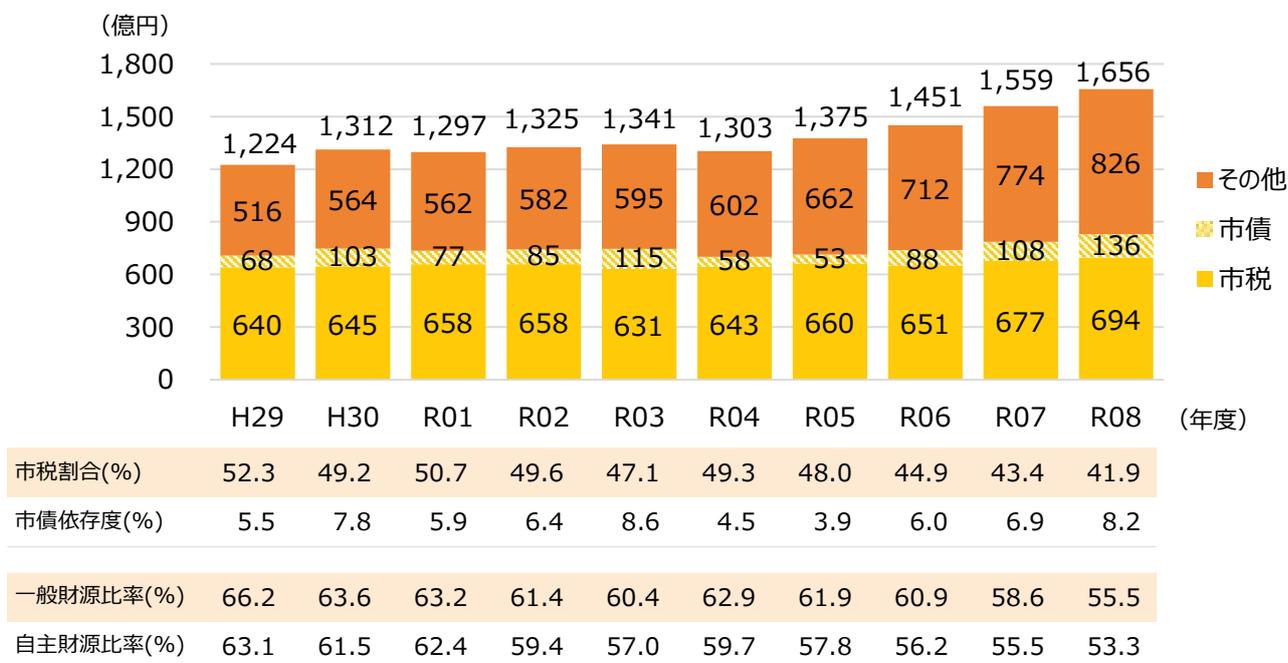
過去の借入金の返済や利子の支払い

性質別経費の比較

	義務的経費	投資的経費	その他
R08	851.9億円	261.4億円	542.7億円
(対前年度)	(+45.5億円)	(+47.4億円)	(+4.1億円)
R07	806.4億円	214.0億円	538.6億円

予算規模の推移

歳入・歳出総額



市税

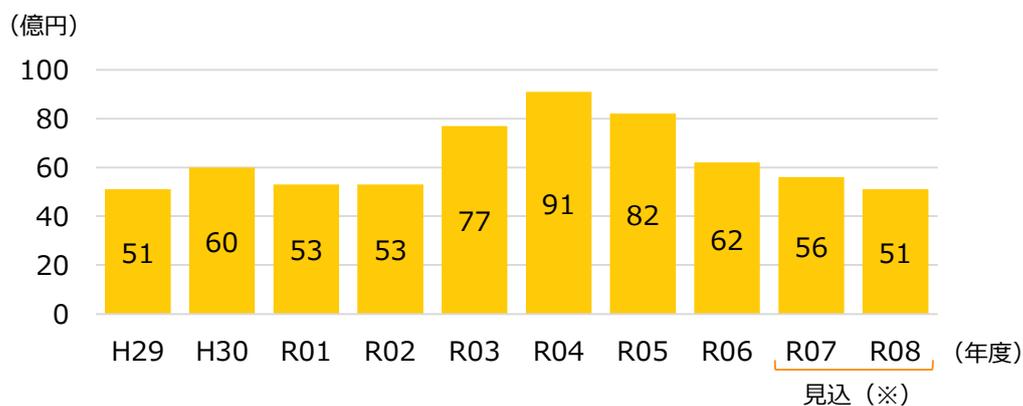
項目	R08年度	R07年度	増減	備考	
市税	694.0億円	677.0億円	+17.0億円		
主な内訳	個人市民税	251.0億円	242.5億円	+8.5億円	給与所得の増
	法人市民税	41.3億円	37.0億円	+4.3億円	企業業績の状況に伴う増
	固定資産税	294.5億円	291.7億円	+2.8億円	家屋の新增築分の増
	市たばこ税	25.3億円	24.2億円	+1.1億円	

地方交付税

項目	R08年度	R07年度	増減
地方交付税	4.0億円	19.5億円	△15.5億円
うち普通交付税	—	12.5億円	皆減
うち特別交付税	4.0億円	7.0億円	△3.0億円

財政調整基金

年度末残高の推移



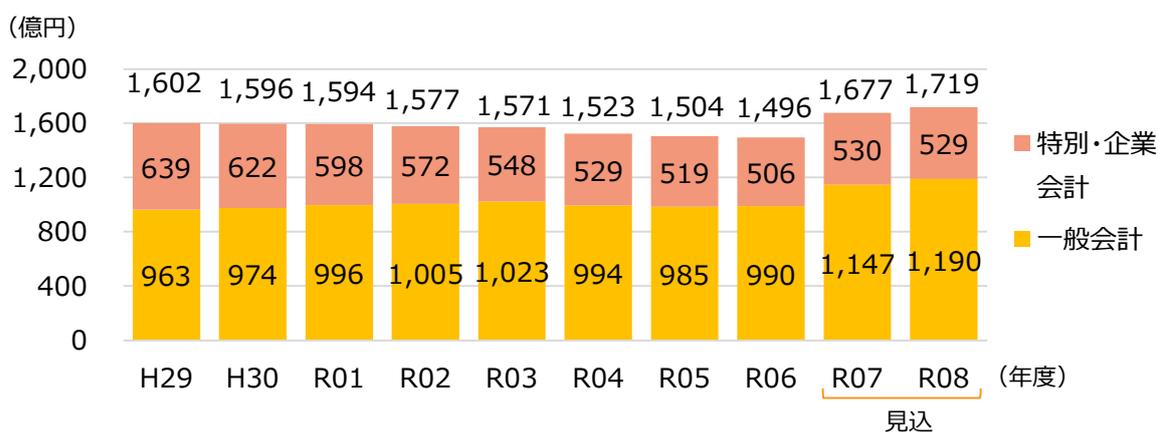
R08年度中の増減見込

積立	約14億円	(R07年度見込：約8億円)	前年度決算剰余金 × 1/2 + 利子
取崩	約18億円(※)	(R07年度見込：約14億円【R07年度当初予算：約24.5億円】)	

※R08年度当初予算28.3億円にR08年度中の取り崩し分の留保額約10億円を考慮

地方債

年度末残高の推移



項目	R08年度末(見込)	R07年度末(見込)	増減
一般会計	1,190億円	1,147億円	43億円
うち建設地方債	1,051億円	984億円	67億円
うち特別地方債(※1)	139億円	163億円	△24億円
全会計	1,719億円	1,677億円	42億円

※1 特別地方債は、減税補てん債、臨時財政対策債の合計を計上しています。

【参考】SDGs (持続可能な開発目標)の推進



SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

17の目標と169のターゲットで構成され、「誰一人として取り残さない世界の実現」を基本理念に掲げています。



- 豊橋市では、さまざまな施策にSDGsの理念を取り入れ、行政課題の解決や地域活性化に役立てています。

新年度におきましても、誰もが安心して暮らせる地域をめざし「持続可能な豊橋」を推進します。なお、「予算の見どころ」掲載の各取組みには、関連するSDGsの目標を記載しています。

重点的に推進する取組み



不登校への対策や支援の充実 地域で子どもを育む、新たな居場所づくりに取り組みます

これまでの不登校への対策や支援（ほっとプラザ、エールーム等）に加え、地域の大人が見守る場として、生涯学習センターや豊橋市動物愛護センター「あいくる」を活用し、学校・家庭・地域が力を合わせて、小中学校の子どもたちが安心して過ごせる居場所を開設します。



とよはし陽だまりスペース

NEW (北部生涯学習センター、東部生涯学習センター、あいくる)
学校に行きづらさを感じている子どもの地域での
自主学習の場



とよはしほっとプラザ

(視聴覚教育センター、青少年センター、南部窓口センター)
学校に行きづらさを感じている子どもの学習の場

エールーム

(南部中学校、青陵中学校、二川中学校、吉田方中学校)
教室に行きづらさを感じている子どもの学校内での
自主学習の場

ポイント

- 1. 学校に行きづらさを感じる子どものための新たな居場所 **新規****
これまでの子どもたちの居場所に加え、生涯学習センターや「あいくる」を活用し、学校に行きづらさを感じている子どもが一步踏み出すための新たな居場所づくりに取り組みます。
- 2. 地域の大人たちがスタッフ **新規****
保護者や学校と連携しながら、地域の大人があたたかな雰囲気の中で、子どもとふれあい、やさしく見守ります。
- 3. 動物と関わる不登校支援の新拠点 **新規****
「あいくる」では、動物との関わりを加えることで、地域で行う新しい視点からの不登校支援となります。
- 4. 保護者にとっても安心できる居場所 **新規****
子どもだけでなく、保護者に向けた支援にもつながるよう、スクールカウンセラーと連携しながら、家庭を支えていきます。

事業費

365万円

お問い合わせ

地域教育推進室

(0532) 51-3141

chiikikyoiuku@city.toyohashi.lg.jp

こども未来館改修事業



魅力あふれる、より安全で快適な施設となって こども未来館がリニューアルオープンします！



市民ニーズを踏まえた新たな遊びや体験を提供するため、まち空間をリニューアルするとともに、より安全で快適な施設に向けた改修を行い、令和8年8月下旬にリニューアルオープンします。

■ まち空間の新たな遊びと体験の場



① 映像制作ブース



② シンボルツリー



③ デジタル遊具

©Litpla Inc.



④ お仕事体験ショップ

※画像はイメージです。

ポイント

1. まち空間リニューアル

子どもたちの夢や好奇心を育み、より主体的な遊びや体験を通じて成長できる場を提供します。

- ① **映像制作ブース**
コマ撮りアニメの映像制作が体験できます。
- ② **シンボルツリー**
まち空間の新たなシンボルとして子どもたちの作品等を展示します。
- ③ **デジタル遊具**
子どもたちの体の動きに反応した映像で遊ぶことができます。
- ④ **お仕事体験ショップ**
子どもたちがショップの店員となってお仕事体験ができます。

2. 施設改修

より安全で快適な施設とするため改修工事を行います。

事業費

3億1,780万円

お問い合わせ

こども未来館
(0532) 21-5526
coconico@city.toyohashi.lg.jp

総事業費 5億2,520万円

内容 まち空間リニューアル、施設改修（つり天井耐震化、外壁等防水、全館照明LED化）

半導体を核とした次世代産業振興事業



半導体を核とした次世代の産業創出をめざします

豊橋技術科学大学の次世代半導体・センサ科学研究所（通称：IRES²）において、令和7年度にLSI工場・オープンラボ棟が新設されました。これを機に、市内事業者による半導体関連事業への参入や半導体・センサの活用による新たな事業開発、市外の半導体関連事業者の誘致、集った事業者や研究者による協業・連携を実現することで、本市における次世代の産業創出をめざします。



ポイント

事業費

1. 半導体関連事業創出支援補助金 **新規**

豊橋技術科学大学の次世代半導体・センサ科学研究所（IRES²）に新設されたLSI工場・オープンラボ棟を活用した半導体関連事業への参入及び開発に要する経費の一部を助成します。

6,666万円

区分	補助事業	補助対象	補助率	補助額（上限）
STEP1	半導体関連事業参入補助金	市内事業者	1/2	50万円
STEP2	半導体関連事業開発補助金	市内事業者	開発費3/4 賃料6ヶ月分	570万円
		市外事業者	開発費1/2 賃料6ヶ月分	420万円

お問い合わせ

地域イノベーション推進室
(0532) 51-2440
chiiki-innova@city.toyohashi.lg.jp

2. 研究シーズ事業化支援事業 **新規**

STEP2 IRES²を活用した事業創出支援、本市で事業化をめざし得る研究シーズの発掘とその事業化に向けた支援を実施



官民連携による産業拠点の形成を推進します

令和7年度から進めている、国道23号名豊道路など主要幹線道路沿道等の交通基盤の利便性が高い地区を中心とした新たな産業拠点の形成に向けた調査を生かし、官民連携による早期の産業用地確保を推進します。

今回実施する新たな事業手法 官民連携による産業拠点形成

開発事業者募集まで概ね1～2年

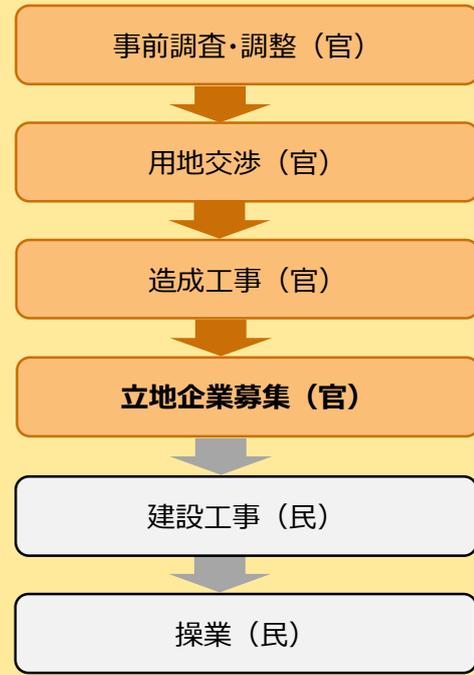
自治体主導による産業拠点の選定・集約を図りながら、早期の事業者募集を行うことができる事業手法。自治体は民間事業者と協定を結び、開発に係る関係者との調整等を支援します。



豊橋市で近年行ってきた事業手法 公共開発による産業拠点形成

立地企業募集まで概ね10～15年

自治体により産業拠点の選定から造成まで行う事業手法。立地企業は、用地交渉や造成工事といった負担がなく進出できます。



※一般的なスケジュール例

ポイント

1. 開発事業者の選定に向けた取組みを行います 新規

スピード感を持って開発を進めることができる手法として検討している地域未来投資促進法などを活用し、官民連携による産業用地整備を進めます。

主な取り組み

- ・立地開発提案募集
- ・開発事業者を選定
- ・選定した開発事業者との官民連携に関する協定締結

事業費

1,100万円

お問い合わせ

産業政策課

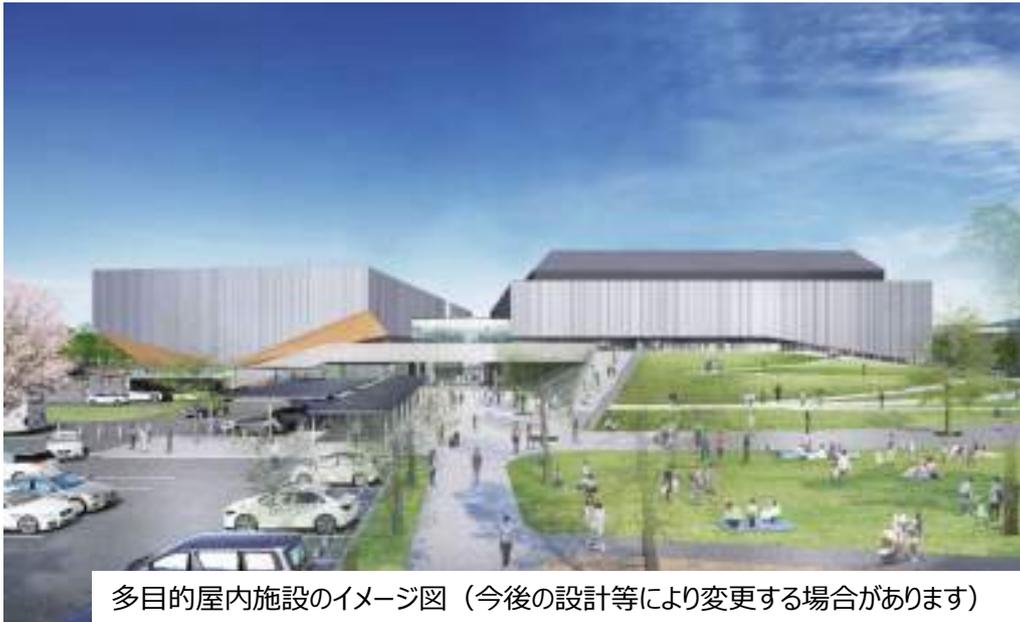
(0532) 51-2416

sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp



多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリアの整備

市民一人ひとりが生涯にわたりスポーツに親しむことができるよう、幅広いスポーツ機能を持ち、災害時には支援物資の輸送拠点などとしても活用できる多目的屋内施設のほか、テニスコートや相撲場などの公園基盤施設を豊橋公園東側エリアへ一体的に整備していきます。



多目的屋内施設のイメージ図（今後の設計等により変更する場合があります）

ポイント

1. 多目的屋内施設の整備

メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、弓道・アーチェリー場、トレーニングルームなどの整備により、スポーツ環境が格段に向上します。

2. 豊橋公園東側エリアの再整備

豊橋公園東側エリアに、スポーツ施設としてテニスコートや相撲場を整備するとともに、幅広い世代に親しんでもらえる多目的広場、芝生広場、こども広場の整備を行います。

3. 防災活動拠点の充実・強化

豊橋公園は地域防災活動拠点に指定されていることから、支援物資の受け入れや広域応援部隊の活動拠点として、防災機能を充実・強化します。

4. 事業方式

P F I手法を活用し、設計・建設や維持管理・運営を一体的に進めます。また、多目的屋内施設にはコンセッション方式を採用します。

5. 令和8年度事業内容

- ・旧豊橋球場解体
- ・基本設計及び実施設計

事業費

2億6,428万円

お問い合わせ

スポーツ施設再編室

(0532) 51-2864

sports-saihen@city.toyohashi.lg.jp

■スケジュール（予定）





とよはしミュージックアンバサダーと連携し 音楽を活用した観光誘客事業を実施します

とよはしミュージックアンバサダーの04 Limited Sazabys(フォーリミテッドサザビーズ)のベースボーカルGEN氏と連携し、音楽を活用した観光誘客事業として豊橋総合スポーツ公園で野外フリーライブを開催します。



※写真は04 Limited Sazabys
右から2番目がとよはしミュージックアンバサダーのGEN氏

ポイント

- 1. 「フォーリミの日」に豊橋市ライブを開催**
4月4日(土)「フォーリミの日」に04 Limited Sazabys 初となる野外フリーライブを豊橋総合スポーツ公園で開催します。
- 2. 音楽に親しめるまちづくり事業**
市民が音楽に親しめる事業や夢へ挑戦する若者が増えるような事業等を行います。

事業費

3,400万円

お問い合わせ

観光プロモーション課
(0532) 51-2430
kanko@city.toyohashi.lg.jp



愛知・名古屋2026大会を盛り上げるとともに パラスポーツを通じ共生社会の実現をめざします

聖火リレーやパラ採火式等を実施し、アジア・アジアパラ競技大会を盛り上げます。また、同大会を契機とし、共生社会の実現に向けてパラスポーツの理解促進に取り組みます。

【第20回アジア競技大会（2026愛知・名古屋）】令和8年9月19日（土）～10月4日（日）
【第5回アジアパラ競技大会（2026愛知・名古屋）】令和8年10月18日（日）～24日（土）

【豊橋市開催競技】アジア競技大会：野球・テコンドー・空手 アジアパラ競技大会：ゴールボール



提供：(一財)全日本野球協会



提供：(一社)全日本テコンドー協会



提供：(公財)全日本空手道連盟



提供：(一社)日本ゴールボール協会

ポイント

1. 大会を盛り上げるイベント等の開催

(1) アジア競技大会聖火リレー **新規**

令和8年8月29日（土）に本市で聖火リレーを開催します。

(2) アジアパラ競技大会採火式

本市で採火した火を名古屋市で行われる集火式へ送り出すセレモニーを実施します。

(3) 文化プログラム

市内競技会場で、国内外に地域の文化をPRするブースを出展します。

2. 大会を契機としたパラスポーツの普及啓発 **新規**

ゴールボールの出前講座やパラスポーツ体験会等を充実させ、パラスポーツの普及を促します。

3. アジア・フレンドシップ推進事業 **新規**

(1) アジアの文化を学ぶ授業の実施

小中学校にて、外国人講師を招いてアジアの文化を学ぶなど、異文化を知るきっかけとなる授業を行います。

(2) 「アジア料理を食べる学校給食の日」の実施

学校給食にてアジア各国の料理を提供し、併せて食育指導を行うことで、アジアの国や地域への理解を深めます。

事業費

3,047万円

お問い合わせ

スポーツ課 [1, 2, 3]
(0532) 51-2367
sports@city.toyohashi.lg.jp

教育政策課 [3]
(0532) 51-2857
kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp

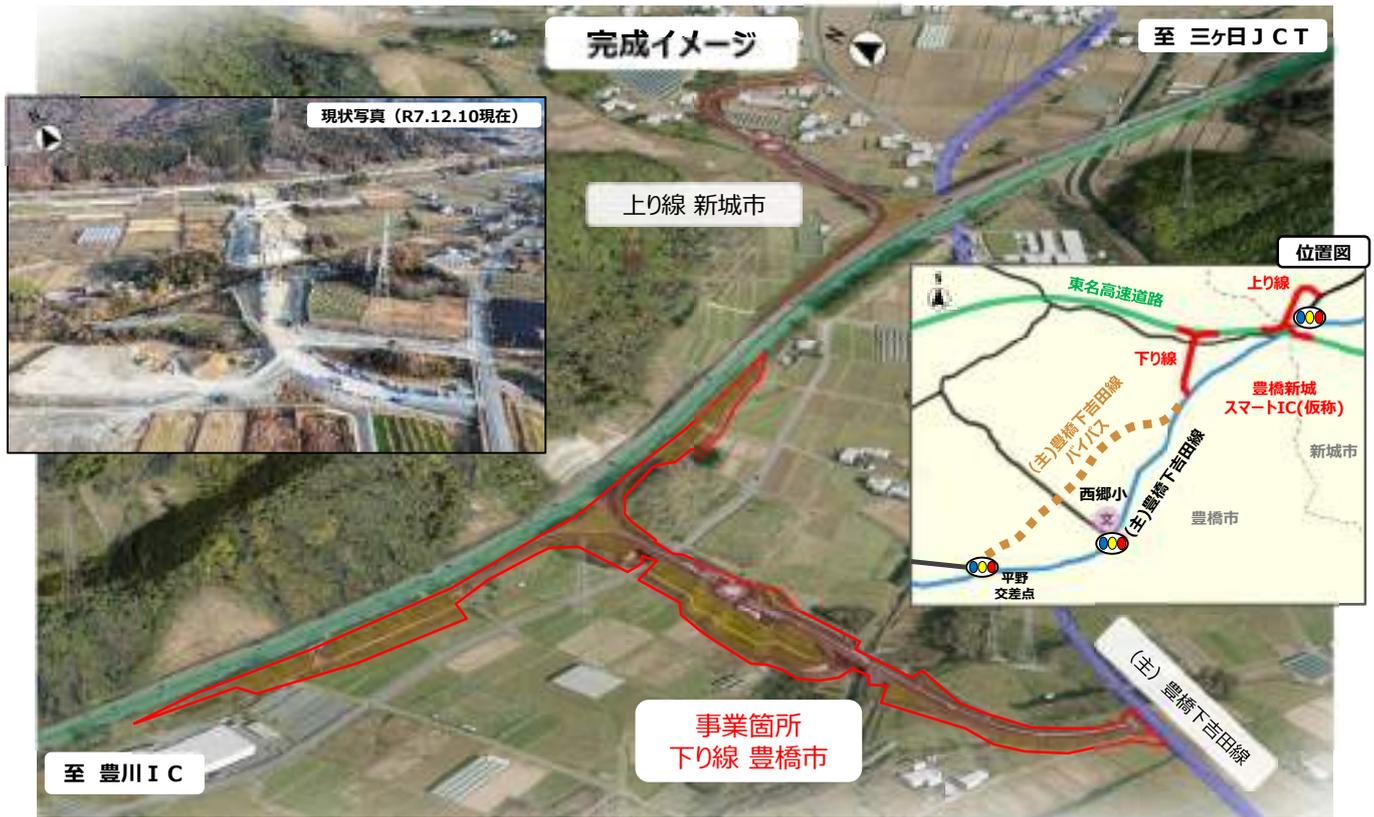
保健給食課 [3]
(0532) 51-2835
hokenkyushoku@city.toyohashi.lg.jp

■ 豊橋新城スマートIC（仮称）整備事業

豊橋新城スマートIC（仮称） 開通に向けて工事を進めます



豊橋初の東名高速道路インターチェンジとなる「豊橋新城スマートIC（仮称）」の開通に向けて、道路改良工事などを着実に進めます。



ポイント

1. スマートインターチェンジの道路改良工事等を進めます

新城市とNEXCO中日本とともに開通をめざし、引き続き道路改良、橋梁上部工事および現道と接続する交差点の改良を進めるほか、周辺道路からインターチェンジを案内する標識の設置等を実施します。また、（主）豊橋下吉田線バイパスの整備について、引き続き事業主体の県と共に事業を推進します。

2. 豊橋新城スマートIC（仮称）の概要

位置	名古屋方面オン・オフ－豊橋市側 東京方面オン・オフ－新城市側
形式	本線直結型※
運用車種	E T C車載器を搭載した全車種
運用時間帯	24時間

※スマートICには、本線直結型とSA・PA接続型の2つの形式があります。

事業費

3億6,728万円

お問い合わせ

道路建設課

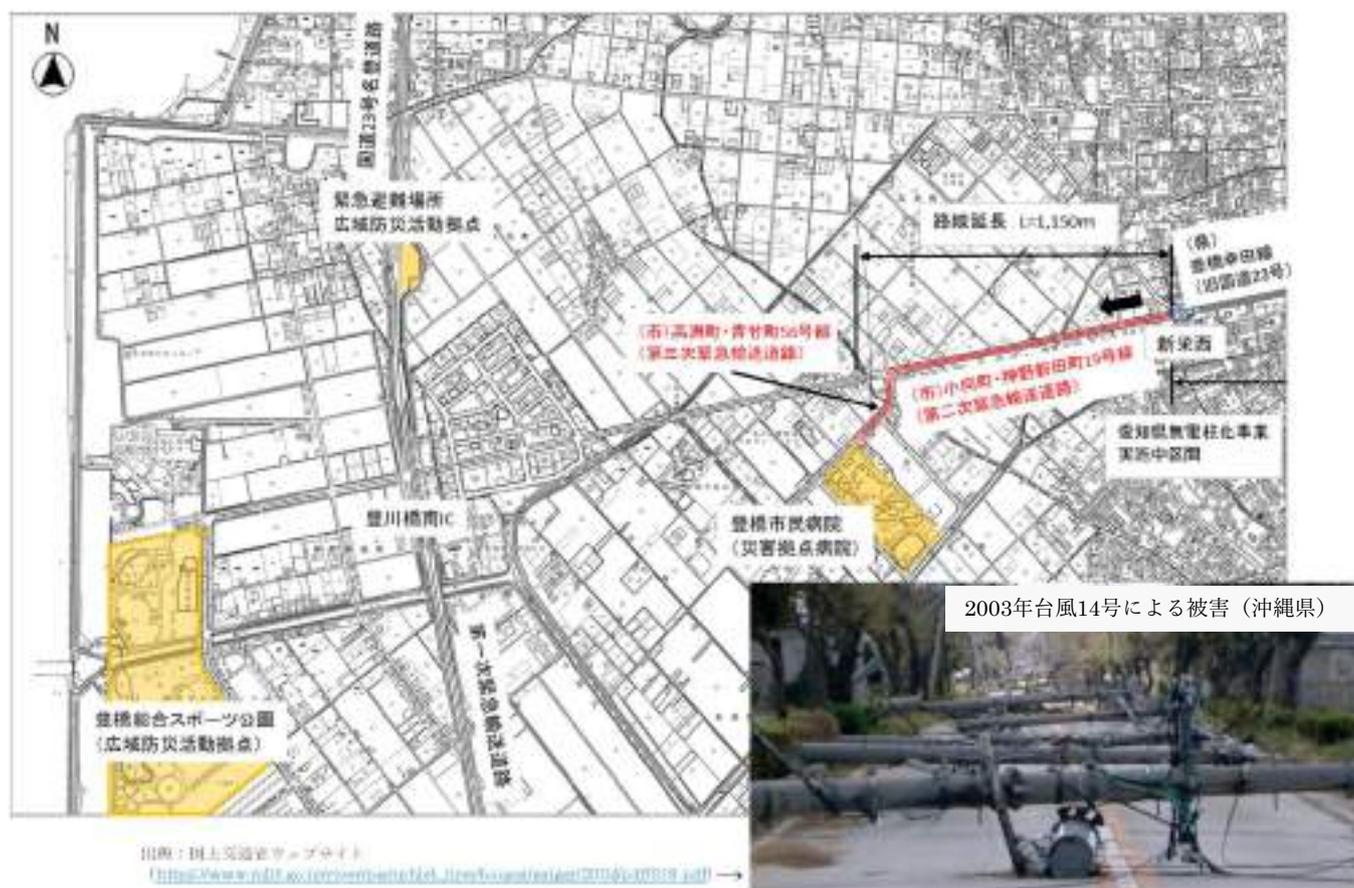
(0532) 51-2520

dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp



豊橋市民病院へ向かう道路の 無電柱化を進めます

地震、台風などの災害時には電柱が倒壊し、道路の通行を妨げる恐れがあります。防災の観点から災害に強い道路とすることをめざし、本市唯一の地域中核災害拠点病院である豊橋市民病院の機能を確保するため、市街地から病院へのアクセス道路となっている緊急輸送道路の無電柱化を進めます。



ポイント

1. 無電柱化推進計画の策定及び予備設計の実施 新規
無電柱化推進計画を策定するとともに、現況調査や電線の地中化方式の検討など工事実施に向けた予備設計を実施します。

2. 事業概要

対象路線	小向町・神野新田町19号線、高洲町・青竹町56号線
路線延長	約1,150m
総事業費	約15億円

3. 期待される効果

- ・避難や救助、物資供給等のための緊急車両の通行空間が確保できます。
- ・災害拠点病院である豊橋市民病院の機能が確保できます。
- ・歩道にある電柱がなくなることで、歩行者空間が広がります。

事業費

1,500万円

お問い合わせ

道路建設課
(0532) 51-2520
dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp

事前復興まちづくり事業



「事前復興まちづくり」を推進します

南海トラフ地震などによる大規模災害に備え、被災後に早期に復興まちづくりを行えるよう、事前復興まちづくり計画の策定に取り組みます。

事前復興まちづくりとは

道路が狭く、古い木造建物が多いため都市基盤が弱い市街地において、地震などにより大規模災害が発生した場合に、被災後の復興を迅速かつ円滑に進めるため、災害発生前から復興の方向性や将来のまちの姿について検討しておく取り組みです。

なぜ必要なのか

被災後の生活再建やまちの復興には多くの困難が生じます。将来のまちの姿や復興の方向性について事前に共有や合意がない場合、話し合いに長い時間を要することがあります。その結果、道路などの公共インフラの整備が遅れ、人口流出や経済の回復にも影響を及ぼします。



事前復興まちづくり計画の策定

(復興まちづくりの目標・実施方針・復興プロセス・復興体制など)

(イメージ写真)



地域と災害リスクや復興プロセスを共有していきます！

こんな効果があります

- ・事前に地域住民や事業者等と災害リスクや復興プロセスなどを共有することで、早期に復興に着手できます。
- ・復興の際に計画的な市街地整備を行うことができ、被災前よりも都市基盤の整ったより良いまちづくりにつながります。
- ・復興の遅れによる人口流出のリスクを抑えます。

ポイント

1. 事前復興まちづくり計画の策定 **新規**

実施内容	・既存データを活用して被災リスクの高いエリアを抽出し、震災復興検討地区を選定	
	・事前復興まちづくり計画骨子案の策定	
スケジュール	令和8年度	令和9年度
	事前復興まちづくり計画の策定	
	震災復興検討地区の選定	選定地区の地域住民向け勉強会

事業費

595万円

お問い合わせ

都市計画課

(0532) 51-2622

toshikeikaku@city.toyohashi.lg.jp



市制施行120周年記念事業を実施します

豊橋市は、明治39年（1906年）に全国で62番目の市として誕生し、令和8年（2026年）に市制施行120周年を迎えます。そこで、節目の年を祝う記念式典など、豊橋の魅力を再発見し、豊橋の未来を考えるきっかけとなる市制施行120周年記念事業を実施します。



ポイント

1. 市制施行120周年記念式典 拡充

市勢の発展や市民福祉の増進、教育・スポーツ・文化の各分野での振興・発展に貢献された方々や団体を表彰します。また、120周年を記念して、豊橋市出身の「だもんで豊橋が好きって言っとるじゃん！」作者：佐野妙氏と「負けヒロインが多すぎる！」著者：雨森たきび氏による講演会を実施することで、豊橋の魅力を再発見し、豊橋の未来を考えるきっかけとします。

2. 学生が創るアニバーサリーイベント 新規

市内の大学と豊橋市がそれぞれ周年を迎える節目に、学生がイベントの企画から実施までを自分たちで行い、「学生目線でのまちへの想い」を形にし豊橋を盛り上げることで、大学のあるまちとしての本市の魅力を市内外へPRします。また、学生の主体的な活動を通して、本市への誇りと愛着を高める機会とします。

3. 関連イベント 拡充

自然史博物館の特別企画展「ポケモン天文台」や「ギョギョッとサカナ★スター展」のほか、70回目を迎える「ええじゃないか豊橋まつり」など120周年を記念した様々なイベントを実施することで、出会いや交流を通じて豊橋の魅力を再発見する機会とします。

事業費

165万円

お問い合わせ

行政課[1,3]
(0532) 51-2027
gyosei@city.toyohashi.lg.jp

政策企画課[2]
(0532) 51-2181
seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp

「ポケモン天文台」関連事業



楽しく学べる特別企画展「ポケモン天文台」を開催！ 宇宙の不思議や科学研究の楽しさを伝えます！

自然史博物館で特別企画展「ポケモン天文台」を開催するとともに、関連イベントなどを実施し、多くの方に宇宙の不思議と科学の楽しさを伝えます。



「ポケモン天文台」HP

特別企画展「ポケモン天文台」開催概要

期間：令和8年9月21日（月・祝）～12月6日（日）、観覧料：大人1,000円 小中学生300円
 場所：豊橋市自然史博物館 特別企画展示室
 主催：豊橋市自然史博物館、自然科学研究機構 国立天文台
 特別協力/ポケモン展示制作：株式会社ポケモン、制作協力：NHKプロモーション
 総合監修：自然科学研究機構 国立天文台、協力：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

ポイント

- 1. 楽しく天文学を学べる特別企画展「ポケモン天文台」** **新規**
 さまざまな特徴を持つポケモンの生態と照らし合わせることで、身近な月や太陽から遠い銀河の彼方まで、宇宙の不思議を楽しく学ぶことができます。
- 2. 中部地方以西で初開催**
 令和7年11月の相模原市立博物館から始まり4か所目の開催地となる本市は、中部地方以西で初めての開催地となります。
- 3. 関連科学教育イベントの充実** **新規**
 「ポケモン天文台」を盛り上げ、天文学をより知っていただくために、最新の研究成果が学べる講演会や星空観望会などを開催します。
- 4. 週末の開館延長** **新規**
 「ポケモン天文台」をより多くのお客様にご覧いただくために、会期中の週末は自然史博物館の開館時間を延長します。
- 5. 市内各所でのイベントの実施** **新規**
 市内各所へのフォトスポット等の設置や関連イベントの開催により、天文学に興味を持ってもらうとともに、企画展への誘客を図ります。
- 6. 民間業者と共同した広報の展開** **新規**
 市内の飲食店などで本企画展のロゴ入り広報用消耗品を使用し、「ポケモン天文台」の機運を高め、企画展を盛り上げます。

事業費

3,436万円

お問い合わせ

自然史博物館[1,2,3,4]
 (0532) 41-4747
 shizenshi@city.toyohashi.lg.jp
 科学教育センター[3]
 (0532) 41-3330
 kagakukyoiku@city.toyohashi.lg.jp
 動植物園[4]
 (0532) 41-2186
 doshokubutsu@city.toyohashi.lg.jp
 観光プロモーション課[5,6]
 (0532) 51-2430
 kanko@city.toyohashi.lg.jp

■ 物価高騰の影響を受ける市民生活等の支援



物価高騰の影響を受ける 市民生活や事業者を支援します

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を最大限活用し、物価高騰の影響を受ける市民や事業者に対し支援を行います。

水道基本料金を6か月分免除します

水道基本料金免除

生活者や事業者支援として、水道料金の基本料金を6か月分免除します。

対象	全契約者（個人及び事業者。ただし、官公署の施設を除く）
期間	令和8年6月～11月使用分の基本料金



豊橋市上下水道局 マスコットキャラクター「クリン」

事業費	11億5,000万円
【連絡先】 経営課	(0532) 51-2740 keiei@city.toyohashi.lg.jp

物価高騰下における市民生活と地域経済を下支えします

プレミアム付電子商品券

食材費高騰の影響を受ける市民生活を支援し、事業者の売上向上を促進するため、プレミアム付電子商品券を総額21億1,250万円分発行します。

発行総数	32.5万セット（前回15万セット）
販売額等	1セット5,000円（利用額6,500円・プレミアム率30%・利用額のうち750円は地元お店ポイント）、1人6セットまで購入可

事業費	6億円
【連絡先】 商工業振興課	(0532) 51-2425 shokogyo@city.toyohashi.lg.jp

学校給食の無償提供で子育て世帯を応援します

中学校等の学校給食無償提供（詳細32ページ）

中学校及びくすのき特別支援学校（中学部）の生徒を対象に学校給食を無償で提供します。また、食物アレルギー等により学校給食を喫食していない生徒等の保護者に対して給食費相当額を助成します。

※小学校の学校給食は国の給食費負担軽減交付金（仮称）を活用して別途無償化します

事業費	6億8,074万円
【連絡先】 保健給食課	(0532) 51-2821 hokenkyushoku@city.toyohashi.lg.jp

高齢者の公共交通の利用などを支援します

高齢者公共交通利用支援金

公共交通の利用促進や利便性向上などを図るため、交通系ICカードを活用した助成を行います。

対象	70歳以上の全市民
支援額	1人当たり2,000円

事業費	1億3,900万円
【連絡先】 都市交通課	(0532) 51-2621 toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp

市内交通事業者を支援します

鉄軌道事業者運行維持臨時支援金

運行サービス水準の維持を図るため、鉄軌道事業者へ電気価格高騰による影響額への支援を行います。

事業費	4,000万円
【連絡先】 都市交通課	(0532) 51-2621 toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp

家庭用冷蔵庫の買い替えを促進します

家庭用省エネ冷蔵庫買替促進補助金

家庭におけるエネルギー費用負担を軽減するため、消費電力削減効果の大きい冷蔵庫への買い替え費用の一部を助成します。

事業費 500万円

対象	補助対象要件を満たす冷蔵庫を買い替える市民
補助額	上限5万円（補助率1/4）

【連絡先】
環境政策課
(0532) 51-2414
kankyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

エネルギー価格高騰の影響を受ける中小企業等の省エネ設備の導入を支援します

中小企業等省エネ設備導入支援補助金

エネルギー使用量を減らし、ランニングコストの軽減につながる省エネ設備の導入を支援するための補助金を新設します。

事業費 3,000万円

対象	市の指定する省エネ診断を受診し、専門家から提案された省エネ設備を導入する中小企業等の事業者
補助額	上限100万円（補助率1/2）

【連絡先】
環境政策課
(0532) 51-2418
kankyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

エネルギー価格等高騰の影響を受ける施設園芸農家の営農継続を支援します

施設園芸エネルギー価格等高騰対策特別支援金

施設園芸農家の営農継続のため、エネルギー価格等の高騰による負担を軽減するための支援を行います。

事業費 1億円

【連絡先】
農業支援課 (0532) 51-2472
nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp

飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の営農継続を支援します

畜産配合飼料価格高騰対策特別支援補助金
畜産粗飼料価格高騰対策特別支援金

畜産農家の営農継続のため、飼料価格の高騰による負担を軽減するための支援を行います。

事業費 4,300万円
(令和7年度分621万円を含む)

【連絡先】
農業支援課 (0532) 51-2472
nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp

参考（令和7年度中に実施するその他の支援）

令和7年度において保育所等、路線バス事業者、介護サービス事業所、自治会、民営児童クラブ、障害福祉サービス事業所等への光熱費高騰対策支援などを実施します。

事業名	事業費	連絡先
保育所等物価高騰対応給食物資購入費補助金 届出保育施設光熱費高騰対策支援金 届出保育施設燃料費高騰対策支援金	2億5,122万円	保育課 (0532) 51-2316
路線バス事業者運行維持臨時支援金	3,500万円	都市交通課 (0532) 51-2621
介護サービス事業所光熱費高騰対策支援金	884万円	長寿介護課 (0532) 51-2330
安全安心防犯灯維持費補助金	630万円	安全生活課 (0532) 51-2553
民営児童クラブ光熱費高騰対策支援金	294万円	地域教育推進室 (0532) 51-2856
障害福祉サービス事業所等光熱費高騰対策支援金	211万円	障害福祉課 (0532) 51-2697

分野別計画に基づく主な取組み

こども誰でも通園制度



こども誰でも通園制度を開始します



子どもの育ちを応援するために、保護者の就労状況などにかかわらず子どもを保育施設に預けることができる、こども誰でも通園制度を令和8年4月から始めます。



こども誰でも
通園制度



津田保育園

※写真はイメージです

ポイント

1. 令和8年度は公立の津田保育園でスタート 新規

こども誰でも通園制度の全国的な展開にあたり、令和8年4月から公立の津田保育園で事業を開始します。

家庭以外の環境での体験や、家族以外の人との触れ合いを通じて、子どもの社会情緒的な発達を支えるなど、子どもの育ちを応援するとともに、保育士との関わりにより、保護者の孤立感や不安感の解消につなげます。

対象	保育所等に通っていない0歳6か月～満3歳未満の子ども
利用時間	月10時間まで
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者の就労要件は問いません ■ 事前に利用のための認定を受ける必要があります ■ 1時間ごとに利用料がかかります

事業費

402万円

お問い合わせ

保育課

(0532) 51-2315

hoiku@city.toyohashi.lg.jp



夏休み期間を安全・安心に過ごすために 夏休み限定児童クラブを拡大します

夏休み期間中に児童が安全・安心に過ごせる環境を整備するとともに、利用ニーズに対応するため、夏休み限定児童クラブを9クラブに拡大します。



ポイント

1. 夏休み限定児童クラブを増設します **拡充**

民間事業者への運営委託によるクラブを増設し、利用ニーズが高い夏休み期間の児童受入れを強化します。

令和6年度…7クラブ

令和7年度…8クラブ（うち、民間委託による開設 1クラブ）

令和8年度…9クラブ（うち、民間委託による開設 3クラブ）

2. 民間事業者による新たな開設手法の検証 **新規**

学校の校舎内において民間事業者によるクラブを開設し、開設手法のさらなる検証を進めます。

3. 夏休み限定児童クラブなどの利用料金を改定します

近年の物価上昇に伴う運営経費の増加等を踏まえ、持続可能なクラブ運営としていくため、利用料金を改定します。

区分	改定前	改定後
夏休み限定児童クラブ	12,000円	15,000円
通年児童クラブ	8月のみ	10,000円
	通常時（9月から）	7,000円
		13,000円
		9,000円

各区分については、きょうだい利用の軽減制度があります。

事業費

504万円

お問い合わせ

地域教育推進室

(0532) 51-3141

chiikikyoku@city.toyohashi.lg.jp

子どもの権利条例制定に向けた検討



子どもの権利を守る 子どもの権利条例の制定をめざします



子どもの権利について市民や社会の理解を深め、すべての子どもの権利が保障される環境づくりを進めるため、子どもの権利条約を踏まえた、子どもの権利条例の制定に向けた検討を進めます。

子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）の4つの原則

差別の禁止

子どもの最善の利益

生命、生存及び発達に対する権利

子どもの意見の尊重



ポイント

1. 子どもの権利条例制定に向けた検討 **新規**

(1) 検討委員会の開催

有識者や市民による検討委員会において、先行事例の研究を行うとともに、子どもの意見や大人の視点などを踏まえて、課題や論点を整理します。

(2) 子どもの意見聴取

子どもが考える子どもの権利について、小中学校での出前講座やアンケートなどを通じて意見を聴き取ります。

事業費

63万円

お問い合わせ

子育て支援課

(0532) 51-2382

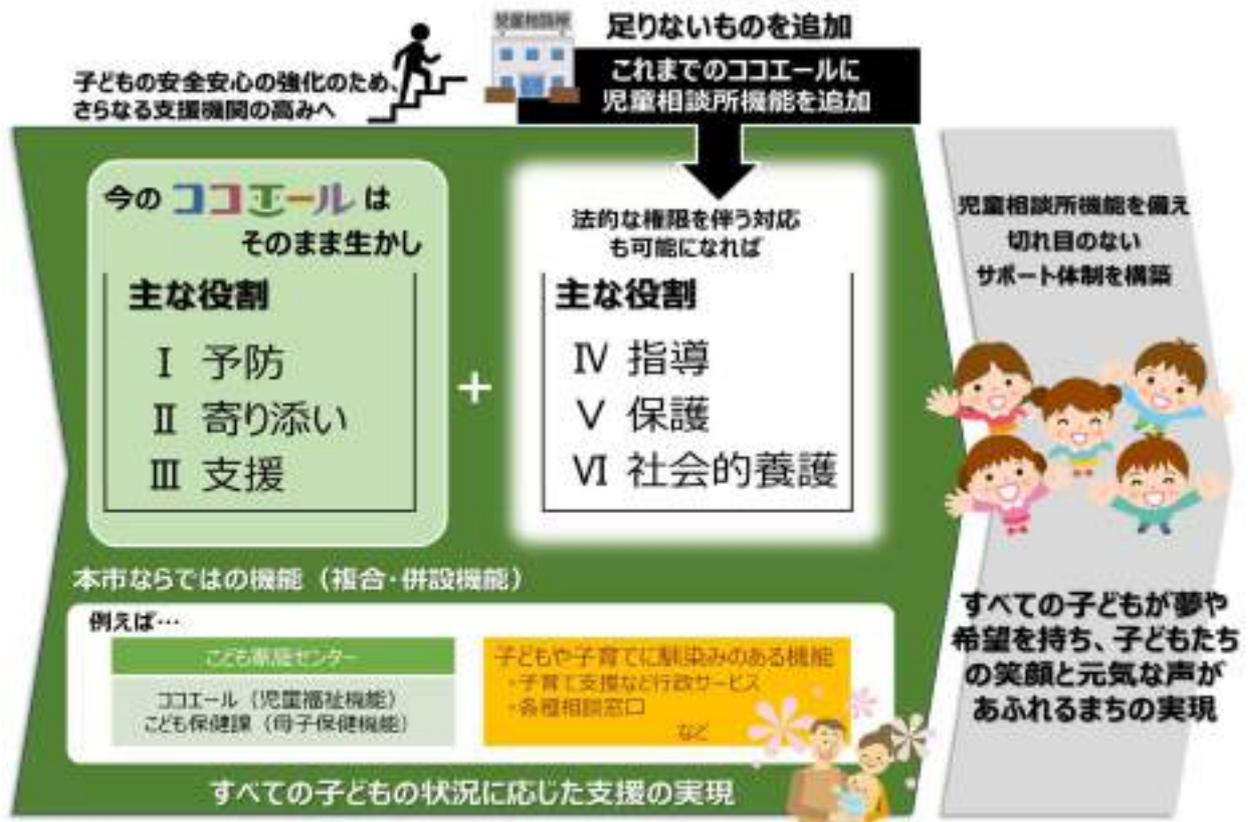
kosodate@city.toyohashi.lg.jp

■ 児童相談所設置に向けた検討



すべての子どもが夢や希望をもち、笑顔と元気な声があふれるまちをめざして
児童相談所のあるべき姿を検討します

妊娠から出産、子育て、子どもの育ち、自立まで、児童相談所機能を含めた切れ目のないサポート体制の実現に向け、本市にふさわしい児童相談所の検討を進めます。



ポイント

1. 基本構想の策定 **新規**

本市がめざす児童相談所を検討するとともに、その実現に向けた運用方針や施設整備の考え方、課題等について取りまとめます。

検討項目

- 児童相談体制のあり方
- 複合・併設機能の整理
- 本市のめざす児童相談所の基本方針、施設整備方針 等

2. 外部有識者会議の開催

福祉・医療・司法・社会的養護等、児童相談所の業務に精通する外部委員6名で構成し、豊富な経験と専門的知見から、本市の児童相談体制について、意見や助言を求めます。

事業費

464万円

お問い合わせ

こども若者支援センター
(0532) 54-7830
kodomu-shien@city.toyohashi.lg.jp





小中学校の給食を無償提供！ 子育て世帯を全力応援します

学校給食を無償で提供することを通して、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、「子育てしやすい環境づくり」を推進します。



ポイント

1. 学校給食の無償提供 **拡充**

市立小中学校及びくすのき特別支援学校（小・中学部）の児童生徒を対象に、学校給食を無償で提供します。

無償提供

小学生：1食当たり350円 ※1
中学生：1食当たり410円 ※2

2. 学校給食費負担軽減対応補助金 **拡充**

対象

- ①食物アレルギー等により、本市が提供する学校給食を喫食していない児童生徒の保護者
- ②市立以外の小中学校等に通う児童生徒の保護者 ※3

給付額

小学生：1人当たり 月額 5,800円 ※1
中学生：1人当たり 月額 6,800円 ※2

- ※1 給食費負担軽減交付金（仮称）と市費を活用
- ※2 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用
【令和7年度補正予算に計上し繰り越す事業】 [再掲ページ24]
- ※3 給食費負担軽減交付金（仮称）の対象校を除く

事業費

- [1] 11億2,366万円
【6億4,783万円】
- [2] 715万円
【 3,291万円】

【 】内は令和7年度補正予算に計上し繰り越す額

お問い合わせ

保健給食課
(0532) 51-2821
hokenkyushoku@city.toyohashi.lg.jp

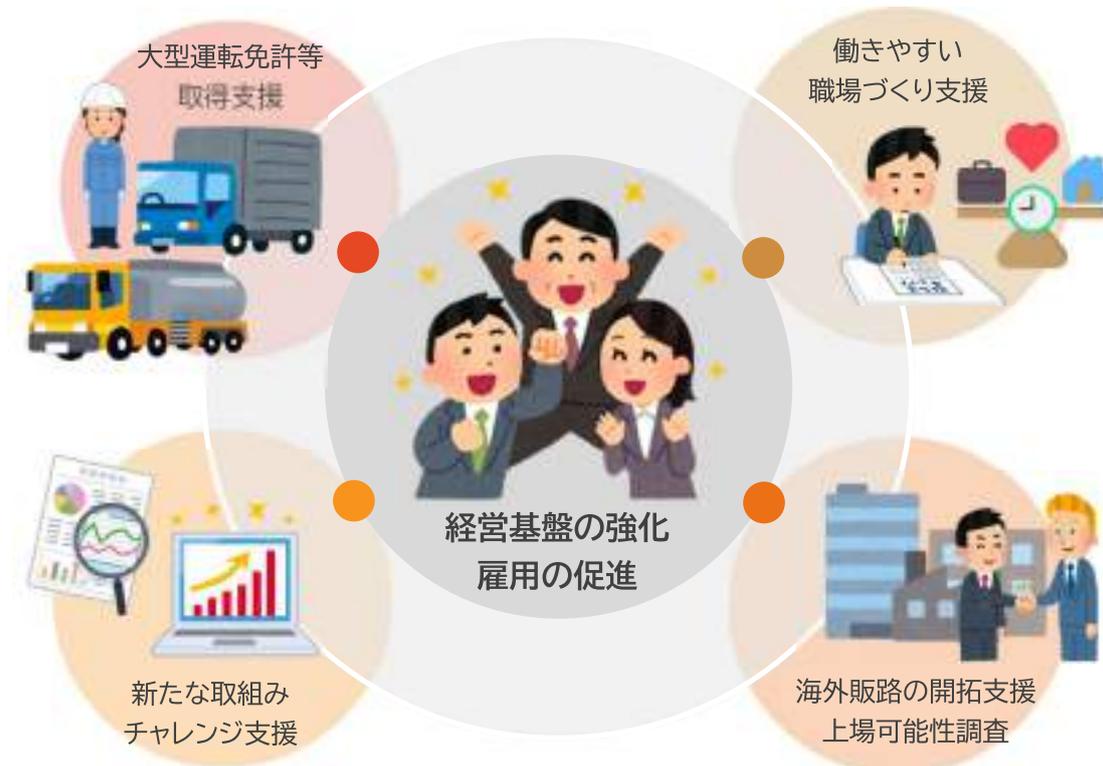
保健給食課公式YouTube





市内企業の成長と魅力ある職場づくりを支援します

経営基盤の強化と雇用の促進のため、生産性向上・人材確保・働きやすい職場づくりに必要な支援を行います。



ポイント

- 1. 大型運転免許等取得支援の対象業種に建設業を追加します** 拡充
中小企業が負担した従業員の運転免許取得費用に対する補助について、建設事業者を補助対象に追加します。
- 2. 働きやすい職場づくりへの支援を拡充します** 拡充
従業員に対して実施するメンタルヘルス対策について、外部講習の受講を補助対象に追加します。
- 3. 新たな取組みへのチャレンジを支援します** 拡充
DX推進により生産性向上・人手不足解消などにチャレンジする中小企業に対して、コンサルティング費用の一部を助成します。
- 4. 海外での販路開拓を支援します**
販路開拓への支援として、名古屋市、愛知県国際展示場、県外（国外含む）で開催される展示会への出展費用の一部を助成します。
- 5. 株式上場をめざす企業に関する調査を行います** 新規
地元就職やU I J ターンの受け皿となる魅力的な企業の創出をめざして、企業の株式上場に向けた意欲等を調査します。

事業費

2,796万円

お問い合わせ

商工業振興課
(0532) 51-2425
shokogyo@city.toyohashi.lg.jp



スタートアップや新たなビジネスの創出を支援！ 強い地域産業の実現をめざします

地域事業者と全国のスタートアップのマッチングによる新規事業創出や業務課題の解決を支援するとともに、農業者等とスタートアップの実証開発を支援します。

共創コミュニティ創出支援

地域事業者が全国のスタートアップ等と効率良く連携できるオンラインマッチングプラットフォーム『とよはし共創ラボ』において、スタートアップ等の知恵・技術を取り入れ、自社だけでは解決が難しい課題や新規事業に取り組む機会を提供します。



アグリテック実証支援

農業系スタートアップのチャレンジを地域をあげて応援・共創する「日本一アグリテックフレンドリーなまち」をめざし、農業系スタートアップと本市農業者等との連携により、課題解決に繋がる新製品・サービスの創出に取り組むプロジェクト「豊橋アグリミートアップ」を推進します。



ポイント

1. 共創コミュニティ創出支援事業

(1) とよはし共創ラボ 拡充

課題を持つ地域事業者と解決策を持つスタートアップ等をオンラインのプラットフォームを通じてマッチングすることで、新規事業創出や課題解決の機会を提供します。

(2) 本市から事業成長をめざすスタートアップの創出・成長支援

スタートアップの事業成長を後押しするため、ニーズに合わせた個別相談への対応や資金調達につながる機会を提供します。

2. アグリテック実証支援事業

(1) アグリテックコンテスト

農業者等が抱える課題を解決するためのコンテストを「一般部門」と「学生部門」の2部門に分けて実施します。

(2) マッチングプログラム

スタートアップと農業者等による実証開発プロジェクトを組成します。

(3) 実証開発支援

実証開発プロジェクトを推進するため、専門家による伴走支援を実施します。

(4) 交流会

全国の農業系スタートアップと農業者等との交流イベントを実施します。

事業費

8,501万円

お問い合わせ

地域イノベーション推進室

(0532) 51-2440

chiiki-innova@city.toyohashi.lg.jp



農業法人等誘致のための調査を行います

担い手の高齢化と後継者不足は年々深刻化しており、令和6年度に策定した地域計画やその話し合いにおいても担い手不足が大きな課題となっています。そこで持続可能な地域農業の実現のため、農業法人等誘致に向けて調査を行います。

めざす姿（イメージ）

現状課題

- ・担い手の後継者不足・高齢化
- ・担い手不足により耕作放棄地が点在（農地集約化を阻害）



地域計画策定における協議の場などにより洗い出された地域農業における現状と課題

今後の施策

- 新たな担い手の確保
- 大規模集約



地域農業の方向性の一つとして
農業法人等の誘致を検討

農業法人等誘致の可能性を調査することにより持続可能な地域農業をめざします

ポイント

1. 農業法人等誘致可能性調査業務

新規

持続可能な地域農業の実現のため、新たな担い手となる農業法人等の誘致可能性調査を実施します。

事業費

1,000万円

お問い合わせ

農業企画課

(0532) 51-2471

nogyokikaku@city.toyohashi.lg.jp

■ 三河港振興会負担金（内航コンテナ助成金）



内航コンテナ船の利用を促進します

内航コンテナ船は陸上輸送に比べてCO₂排出量が少なく、エネルギー効率にも優れた輸送手段です。新たに三河港で危険物コンテナの取扱いが開始されたことに伴い、内航コンテナ船の利用をより一層促進することで、環境に優しく利用者には選ばれる港湾をめざします。



三河港豊橋コンテナターミナルで取扱可能なコンテナの種類

	ドライコンテナ (一般貨物用)		
	リーファコンテナ (冷凍・冷蔵用)		
	ドライコンテナ (リチウム電池等) 危険物コンテナ		タンクコンテナ (薬品・液化ガス等) 危険物コンテナ

危険物専用コンテナヤード
令和8年1月供用開始

ポイント

1. コンテナ船の利用を支援します

【内航コンテナ助成金】

250万円

三河港におけるコンテナ利用促進のため、CO₂排出量が少なくエネルギー効率の高い内航コンテナ船を利用する荷主に対して、コンテナ本数に応じた助成を行っています。令和8年1月から三河港で供用開始された危険物コンテナヤードにおいて取り扱われる危険物コンテナについても、内航コンテナ助成金をご活用いただけます。

事業費

お問い合わせ

みなと振興課

(0532) 34-3710

minato@city.toyohashi.lg.jp

対象企業	助成額	助成上限
新たに三河港を利用する企業 三河港を利用中の企業	コンテナ1本当たり 最大15,000円	1社当たりコンテナ本数150本



豊橋市動物愛護センター「あいくる」本格稼働！ ～人と動物が共生する住みよいまち豊橋をめざします～

「あいくる」を拠点に、市民や関係団体等と連携・協働して、犬や猫を適正に管理し譲渡を推進します。あわせて動物愛護の理解を深める啓発活動の充実を図ります。



子どもたちに向けた普及啓発



地域猫活動の支援充実



ペット防災対策の強化



ペット版フードドライブの実施

ポイント

1. 次世代を担う子どもたちに向けた普及啓発活動の実施

教育機関やネーミングライツパートナーである中央製乳株式会社と連携し、子どもたちが動物愛護の理解をより深められるよう、体験型講習や動画配信、リモート講習などの学習機会を創出します。

2. 地域猫活動※1 支援の充実 拡充

従来の補助金による支援に加え、「あいくる」において不妊去勢手術を実施することで、地域猫活動の支援を一層充実させます。

3. ペット防災対策の強化 拡充

ペット同行避難への理解促進やスターターキット※2の効果的な活用が図られるよう、ホームページやSNS等を活用した情報発信や、防災部局と連携した取り組みを実施します。

4. ペット版フードドライブ※3の実施 新規

ご家庭や事業所で不要となったペットフード等を有効活用するため、ペット版フードドライブを実施します。お寄せいただいた品は「あいくる」で活用するとともに、必要とする動物愛護団体等に提供します。

新規



事業費

7,432万円

お問い合わせ

生活衛生課（動物愛護センター）

(0532) 39-9127

seikatsueisei@city.toyohashi.lg.jp

※1 地域猫活動：地域住民が主体となり、飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことでその増加を抑制し、市民の清潔で快適な生活環境を確保する活動

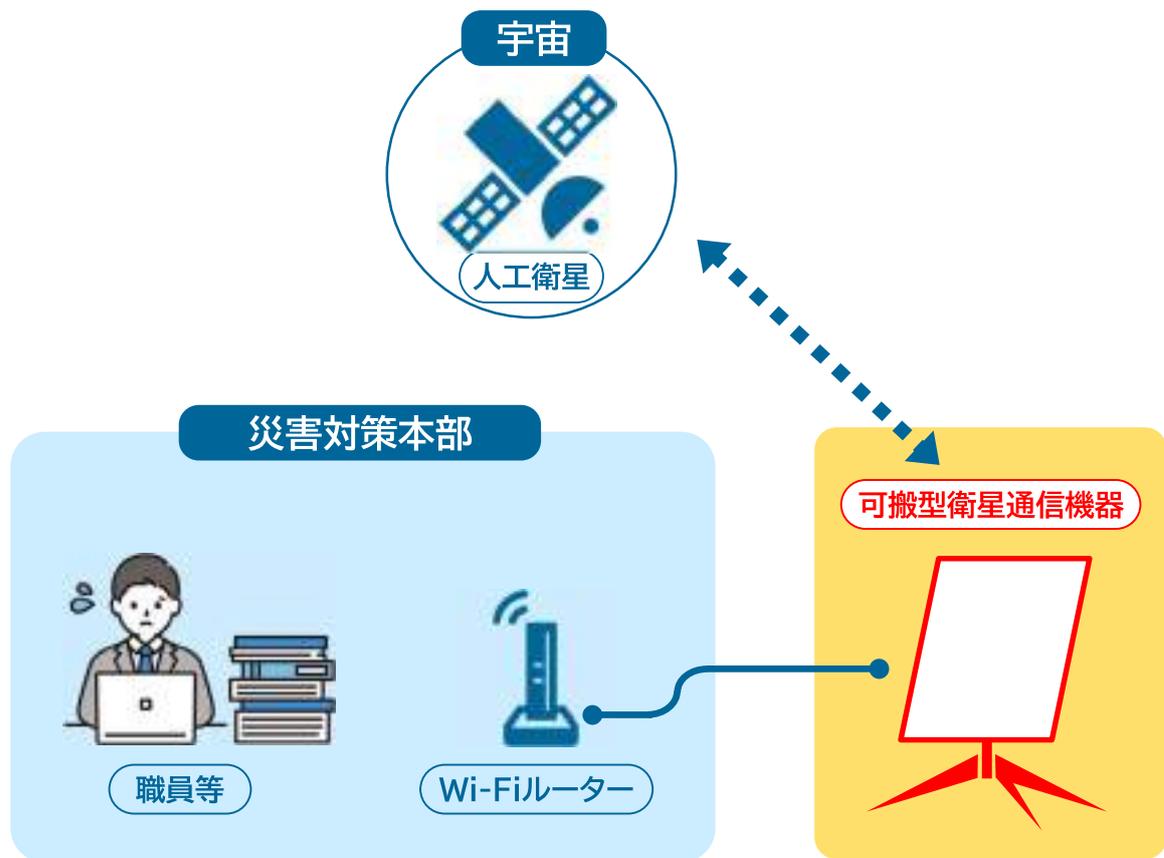
※2 スターターキット：各避難所でペットの受入れを自主的かつ速やかに行うために、必要な物資やマニュアルを保管したものの

※3 フードドライブ：家庭で不要となった食品を集めて、必要としている団体等に寄付する活動



災害対策本部に可搬型の衛星通信機器を導入します！

能登半島地震等の被災地で生じた通信障害を踏まえ、災害対策本部において、災害によりインターネット通信が途絶した場合でも、円滑な被害情報の収集及び国や県等の防災関係機関との情報共有のほか、市民等への避難情報の発信が可能な通信環境を整備します。



ポイント

1. 災害時の安定した通信環境の整備 **新規**

災害時、地上通信インフラの停電や故障によりインターネット通信が利用できなくなったときでも、可搬型衛星通信機器を利用して被害情報の収集や防災関係機関との連絡手段を確保するとともに、市民等へ避難情報を発信します。

※可搬型衛星通信機器とは

専用のアンテナ設置と電源確保のみで、人工衛星を介してインターネットを利用することができる通信機器のこと

事業費

140万円

お問い合わせ

防災危機管理課

(0532) 51-3116

bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp



救急救命体制の強化

デジタルの力で、救急活動を次のステージへ 「マイナ救急」「LINE WORKS」

最新のデジタル技術の活用により、救急活動を効率化・円滑化し、救急救命体制を強化します。



情報収集力の強化(マイナ救急)



病院選定の効率化(LINE WORKS)

ポイント

1. マイナ保険証による情報収集 **拡充**

マイナ救急とは、マイナ保険証を活用して傷病者の病歴や処方薬等を確認し、当情報を参考に搬送先の病院を選定する取り組みです。

令和6・7年度の国の実証事業を経て、令和8年度から本格運用を始めるもので、タブレット端末等を増強し、全救急隊でマイナ救急を実施できる体制を整備します。

2. LINE WORKSによる一斉受入れ要請 **新規**

救急隊による病院への受入要請は、通常、病院ごとに電話連絡していますが、LINE WORKSを活用して複数の病院へ一斉に受入照会を行うことで、病院選定の効率化を図ります。

事業費

96万円

お問い合わせ

消防救急課

(0532) 51-3101

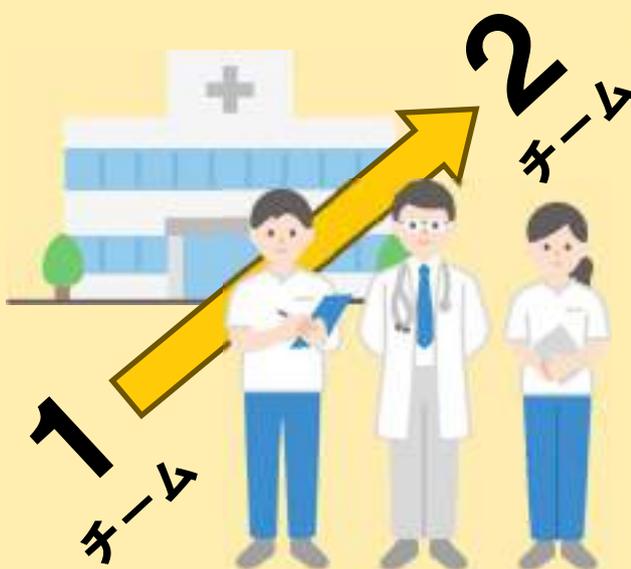
shobo99@city.toyohashi.lg.jp



認知症と共に生きるまちづくりをめざして 支援体制の強化と普及啓発を図ります

認知症と共に生きるまちづくりをめざし、認知症が疑われる方やその家族と早期に関わる支援チームの体制を強化するとともに、実話に基づく映画の上映を通して当事者の視点から認知症への理解を深める機会を創出します。

1. 認知症初期集中支援チームの体制強化



- ★ 認知症疾患に特化した医療機関を追加
- ★ 2チーム体制により支援体制を強化

2. 映画「オレンジ・ランプ」の上映



提供元：(株)ワンダーラボラトリー

- ★ 認知症と共に笑顔で生きる実話に基づく映画を上映し、認知症への理解を深める

ポイント

1. 認知症初期集中支援チームの体制強化 **拡充**

認知症の早期発見・早期対応のため、認知症が疑われる方やその家族と早期に関わる支援チームに、認知症疾患に特化した医療機関を加え体制を強化します。

2. 映画「オレンジ・ランプ」の上映 **新規**

認知症当事者の思いや実体験を伝えるため、若年性認知症と診断された主人公が、認知症と共に笑顔で生きる実話をもとに制作された映画の上映会を開催します。

事業費

1,124万円

お問い合わせ

長寿介護課

(0532) 51-2330

choju@city.toyohashi.lg.jp



R Sウイルス感染症定期予防接種（母子免疫ワクチン）がはじまります

R Sウイルスは2歳までにほぼ100%の子どもが感染します。特に、はじめてR Sウイルスに感染する生後半年未満の乳児で重症化しやすく、合併症として、無呼吸発作、急性脳症、後遺症として気管支ぜんそくがありますが、治療は対症療法のみとなっています。効果的な予防対策である妊婦への予防接種について、費用を公費で負担し、接種を促進します。



妊婦への接種で胎児に抗体が移行します

赤ちゃんは免疫機能が発達していないため、妊婦への予防接種で作られた抗体が、胎盤を通じて胎児へ移行します。この抗体は出産後およそ6か月持続します。

対象の方へ予診票をお送りします

接種可能となる妊娠28週に合わせて予診票を送付します。

 豊橋市外の医療機関で接種する場合は、別途申請が必要です。



実施医療機関で接種

ポイント

1. R Sウイルス感染症予防接種 新規

A類定期予防接種としてR Sウイルス感染症に対する予防接種を行います。

対象者	妊娠28週0日から36週6日の妊婦
接種方法	アプリスボ®筋注用0.5m lを筋肉内接種
回数	1回
接種場所	市内実施医療機関
接種費用	無料



事業費

4,328万円

お問い合わせ

保健医療企画課

(0532) 39-9109

hokeniryoushi@city.toyohashi.lg.jp

若者政策提案事業



若者の「夢」「想い」が実現！！ 豊橋わかば議会提案事業を実施します



第6期豊橋わかば議会の若者委員が、豊橋市をより良くするために考え、「夢」や「想い」を込め提案した事業を実施します。また、新たな委員を募集し第7期豊橋わかば議会を開催します。



オリエンテーション



所信表明



ワークショップ



政策提案発表会

豊橋わかば議会（第6期）提案事業

学生が創るアニバーサリーイベント

※「学生が創る！Toyohashi Dream Canvas」
(提案：若者盛り上げ委員会)の趣旨を引継ぎ実施

自分で自分を守りんよ

(提案：防犯対策委員会)

わかばふれあい広場

(提案：わかば子ども支援委員会)

だもんで若者がやるっていつとるじゃん！

(提案：縁サポート委員会)

ポイント

1. 豊橋わかば議会の開催

豊橋市の未来を担う若者が、自分たちが住みたくなるまちの実現に向けて、ワークショップや議論を通して「夢」や「想い」を政策として提案し、事業化をめざします。

2. 豊橋わかば議会（第6期）提案事業 **新規**

(1) 学生が創るアニバーサリーイベント（再掲） [掲載ページ22]

市内の大学と豊橋市がそれぞれ周年を迎える節目に、学生がイベントの企画から実施までを自分たちで行い、「学生目線でのまちへの想い」を形にし豊橋を盛り上げます。

(2) 自分で自分を守りんよ

若者に防犯活動への興味を持ってもらうため、文化祭・学園祭などで防犯体験ブースを開設します。

(3) わかばふれあい広場

学校や教室へ行きづらさを感じる児童生徒が安心して人と関わる事ができる機会として、年齢の近い高校生・大学生との交流の場を提供します。

(4) だもんで若者がやるっていつとるじゃん！

若者のボランティア参加や地域交流のきっかけをつくるため、若者と地域で活動している団体をマッチングします。

事業費

- [1] 553万円
- [2] 152万円

お問い合わせ

市民協働推進課 [1,2(4)]

(0532) 51-2482

shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp

政策企画課 [2(1)]

(0532) 51-2181

seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp

安全生活課 [2(2)]

(0532) 51-2303

anzenseikatsu@city.toyohashi.lg.jp

学校教育課（教育会館） [2(3)]

(0532) 33-2113

gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp

■ 「文化がみえるまち」の実現

あらゆる人々が参加できる「文化がみえるまち」の実現 ～文化芸術を通じ、心豊かな人を育みます～



あらゆる人々が文化芸術に触れる機会を提供します。また、新たな文化芸術作品や活動を創る機会・活かす機会を増やすとともに、次世代の市民へ文化芸術の継承を行っていきます。



「学校での芸術体験」

宮沢りえ出演
「メアリー・ステュアート」とよはしアートフェスティバル2026
「大道芸inとよはし」

「伝統文化の体験」

ポイント

- 1. あらゆる人々が参加できる文化芸術事業を展開します**
日本語字幕、多言語字幕、舞台説明会・音声ガイドなど、あらゆる市民と一緒に楽しめる取組みを増やします。
- 2. 学校や福祉施設へ文化芸術を届けます**
実際に目の前で演じられる文化芸術に触れる機会を多彩なアーティストと共に提供します。
- 3. 屋外回遊型イベントで、まちなかを活性化します**
「大道芸inとよはし」を中心に、まちなかで気軽に文化芸術に触れる機会を作り、人々が回遊することでまちなかの活性化につなげます。
- 4. 特徴的で多彩な公演鑑賞、講座を届けます**
話題の作品を上演するほか、多彩な文化芸術に触れる機会を提供します。
 - ・地域の高校生や市民と共に創る舞台
 - ・地域の若手音楽家のコンサート
 - ・舞台や劇場に関わる多数の講座
 - ・舞台手話通訳付公演
 - ・伝統芸能等の公演
 - ・アーティストの育成発表など

事業費

1億9,404万円

お問い合わせ

文化課
(0532) 51-2875
bunka@city.toyohashi.lg.jp



豊橋総合スポーツ公園に野球場の整備を進めます

広域防災活動拠点としての機能強化を図りながら、快適な競技環境の実現に向けて、豊橋総合スポーツ公園に新たな野球場の整備を進めます。



完成イメージ（今後の設計等により変更する場合があります）

ポイント

1. 利用者が使いやすい野球場 **新規**

新たな野球場は、メイン球場1面とサブグラウンド2面を隣接し、硬式・軟式野球、ソフトボールの大会や日常の練習などに使いやすい施設とします。

2. 防災機能の強化 **新規**

災害発生時に受援及び応援のための活動拠点として活用します。また、メイン球場のスタンド等は津波の指定緊急避難場所に指定できる安全な施設となるよう整備し、災害時に周辺施設の利用者なども一時的に避難できるようにします。

3. 令和8年度事業内容 **新規**

- ・地質調査
- ・用地取得
- ・造成 など

事業費

7億4,587万円

お問い合わせ

公園緑地課

(0532) 51-2650

koenryokuchi@city.toyohashi.lg.jp

スポーツ課

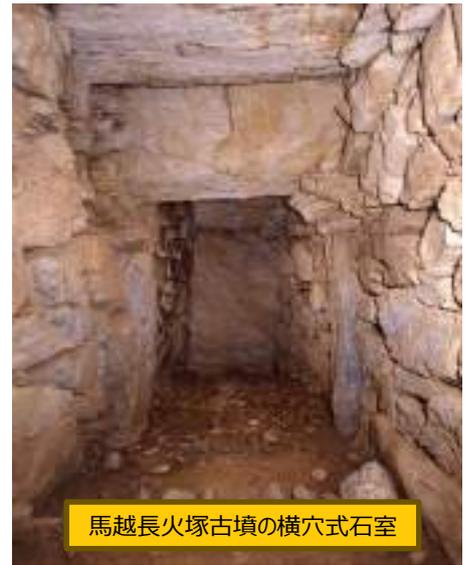
(0532) 51-2866

sports@city.toyohashi.lg.jp



馬越長火塚古墳群の 史跡公園整備に向けた基本計画の策定に取り組みます

国史跡・馬越長火塚古墳群について、北部地域活性化の視点を盛り込みながら、史跡公園に向けた整備事業として令和8・9年度の2か年で整備基本計画を策定します。



- ・古墳群をどうやって守る？
- ・畑に改造された部分をどう復元する？
- ・史跡公園として快適で利用しやすい空間にするには？
- ・いくらぐらい費用がかかる？



- ・石室をどうやって守る？
- ・見学的安全性をどう考える？
- ・古墳の価値をどう伝える？

ポイント

1. 史跡公園整備の基本となる計画づくり 新規
平成30年に作成した古墳群の『保存活用計画』ならびに令和7年に文化庁から認定された『豊橋市文化財保存活用地域計画』に基づきながら、令和8・9年度の2か年で整備基本計画を策定します。

事業費

303万円

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・整備の基本方針の設定 ・整備にかかる諸計画（遺構保存、修復など）の作成 ・概算事業費の算出 ・完成予想図の作成 ・石室目視調査の実施 ・『整備基本計画書』の作成 など
-------------	---

お問い合わせ

美術博物館（文化財センター）
(0532) 56-6060
bijutsu@city.toyohashi.lg.jp

2. 史跡整備のエキスパートや地域の方々と策定する計画
文化庁調査官の指導を受けながら、各地で史跡整備にかかわってきた有識者たちを策定委員に迎え、かつ地元の方々の意見を取り入れて、北部地域の活性化に貢献する史跡公園づくりに取り組みます。



マゴじろう

いこう計画にしよう。



J R 東海と連携しコンテンツを活用した 観光誘客事業を継続して実施します

令和5年度にJ R 東海と交わした「コンテンツを活用した地域活性化に係る連携と協力に関する協定書」に基づき、令和7年度に実施したJ R 東海の推し旅「負けヒロインのボイスが多すぎる！～豊橋へようこそpart2～」との連携のように、コンテンツを活用してまちの魅力を発信します。



※写真は令和7年度の様子

ポイント

1. 市内の装飾や周遊イベントを実施

J R 東海と連携し、商店街や公共施設などを装飾するほか、市内で周遊イベント等を実施することで、観光客や市内消費の増加をめざします。

事業費

2,500万円

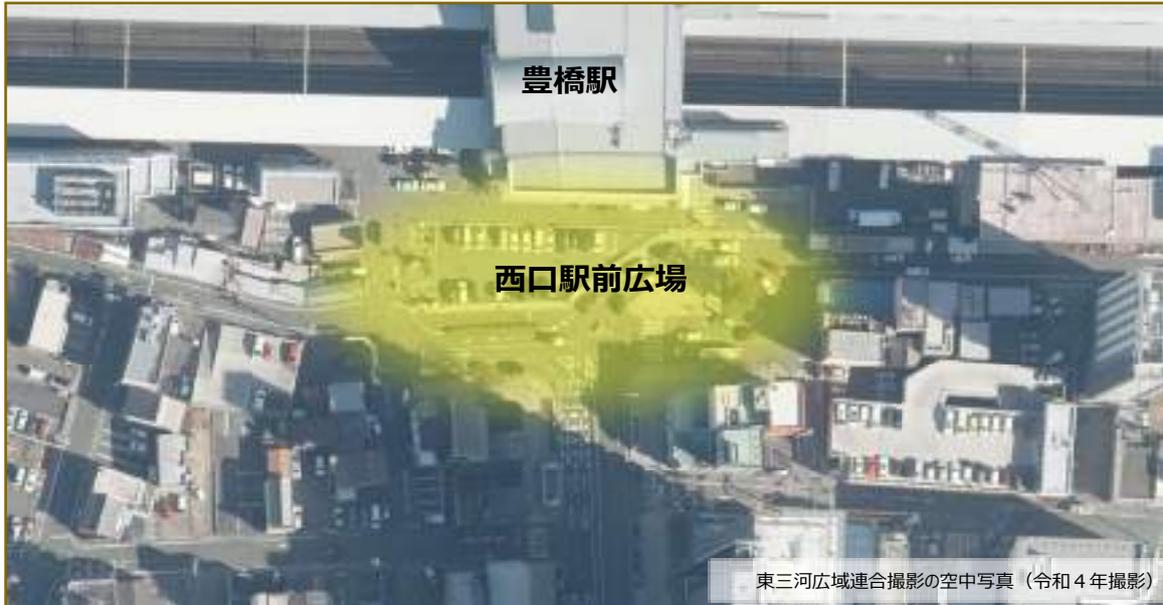
お問い合わせ

観光プロモーション課
(0532) 51-2430
kanko@city.toyohashi.lg.jp



豊橋駅西口駅前広場の再整備の可能性を調査します

豊橋駅の新幹線口であり三河港への玄関口でもある豊橋駅西口駅前広場や周辺の交通環境改善に向けた検討を行います。



【課題】
歩行者と車両との交錯



【課題】
一般車や公共交通の乗降スペースの不足



ポイント

1. 西口駅前広場の再整備の可能性調査 新規

現状の豊橋駅西口駅前広場における交通環境や利用実態を踏まえ、再整備の方向性を検討します。

- ・人や車の交通動線や広場の利用状況を調査します。
- ・駅前広場の形状や動線等、整備の方向性を検討します。

事業費

1,271万円

お問い合わせ

まちなか活性課

(0532) 55-8102

machinaka@city.toyohashi.lg.jp



新しい発見にあふれた 魅力いっぱいの「のんほいパーク」を創ります

国内最大級のアジアゾウの飼育頭数を誇る「のんほいパーク」は、今後もさらなる繁殖と群れ飼育を行うため、十分な広さの寝室を備えた獣舎と、ゾウがのびのびと過ごすことができる放飼場等を整備します。

新ゾウ舎の整備



周辺園路等整備



新ゾウ舎整備



完成予想図

※整備完了後、ゾウのならし期間を経て一般公開予定

ポイント

1. 新ゾウ舎を整備します

ゾウたちがのびのびと群れで過ごせるよう、新しい獣舎と放飼場のほか、新たに周辺園路を整備します。来園者に見やすい屋内観覧通路を設けるほか、テナガザルとの混合飼育による展示効果の向上を図り、動物の魅力をもっと体感できる施設をめざします。

- ・新ゾウ舎 総事業費10億9,930万円(令和7・8年度2か年継続事業)
- ・ゾウ舎周辺園路等整備事業

【施設概要】

- ・獣舎：鉄筋コンクリート造2階建 延べ床面積1,501.54㎡
主な諸室：ゾウ寝室、トレーニング室、テナガザル寝室、観覧通路、管理室
- ・放飼場：敷地 約1,000㎡
主な施設：外周柵、砂敷き床、水飲み場、テナガザル用ロープ支柱
- ・周辺園路等：園路、広場

事業費

8億8,090万円

お問い合わせ

動植物園

(0532) 41-2186

doshokubutsu@city.toyohashi.lg.jp

ゼロカーボンシティ実現に向けて 事業者の脱炭素への取組みを支援します



「ゼロカーボンシティとよはし」の実現に向けて、市内事業者の脱炭素への取組みを支援します。環境省が示す脱炭素に向けたステップ「知る」「測る」「減らす」に沿って、セミナーの開催、省エネ診断への補助、太陽光発電設備等や省エネ設備の導入補助などの支援を行います。



ポイント

- 事業者の「知る」を支援** 拡充
光熱費削減・企業イメージ向上など脱炭素経営のメリットや、市内企業の事例など、企業経営に役立つ情報をセミナーを通じて提供します。
- 事業者の「測る」を支援** 新規
中小企業等が省エネ診断を受けやすい環境を整え、光熱費の軽減を通じて、温室効果ガスの排出量削減につながるよう支援します。
(1) 中小企業等省エネ診断補助金の新設
中小企業等の省エネ診断受診費用の一部を助成します。
- 事業者の「減らす」を支援**
事業者が排出する温室効果ガスを削減するための設備投資を支援します。
(1) 市内事業者太陽光発電設備等導入費補助金
事業者が太陽光発電設備・蓄電池を設置する際にかかる費用の一部を助成します。
(2) 中小企業等省エネ設備導入支援補助金の新設 (再掲) 新規
【令和7年度補正予算に計上し繰り越す事業】 [掲載ページ25]
中小企業等が省エネ設備を導入する際の費用の一部を助成します。

事業費

670万円
【3,000万円】

【 】内は令和7年度補正予算に計上し繰り越す額

お問い合わせ

環境政策課
(0532) 51-2454
kankyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

■ ごみ収集の課題解決に向けた検討



戸別収集の実証実験を行います

市民ニーズの多様化やごみステーションを管理する自治会の負担などの課題解決に向けた今後の検討のため、戸別収集の実証実験を行います。

【現在の収集方法】ステーション収集 各家庭が地域のごみステーションへごみを出し、収集する方法



《ステーション収集の課題》

- ▶ ごみステーションを管理する自治会の負担
- ▶ ごみを出すときのルール・マナー違反
- ▶ 市民ニーズの多様化
〔高齢者世帯、子育て世帯、
その他排出困難者への支援が求められる〕
- ▶ 資源物等の持ち去り行為
- ▶ カラスや猫などの動物被害
- ▶ 事業系ごみの排出

↓ 課題解決策の一案として検討



戸別収集

各家庭が家の前へごみを出し、収集する方法（※ 集合住宅を除く）

ポイント

1. 戸別収集の実証実験 新規

地域の安全や住民への影響を最小限に抑えながら「戸別収集」を一部地域において期間限定で実施します。

《実験のイメージ》

- ▶ 対象世帯 : 500世帯程度
- ▶ 対象ごみ種 : もやすごみ、生ごみ
- ▶ 実施期間 : 約2週間

2. アンケート調査

実証実験を行った地域において、戸別収集を体験して感じたことなど意見を聴取するため、アンケート調査を行います。

3. 実証実験やアンケート調査で得られたデータの活用

実証実験の結果や市民意見を踏まえて、戸別収集を導入することが本市のごみ収集を取り巻く課題の解決につながるかどうかの検討及び判断の材料とします。

事業費

81万円

お問い合わせ

収集業務課

(0532) 61-4136

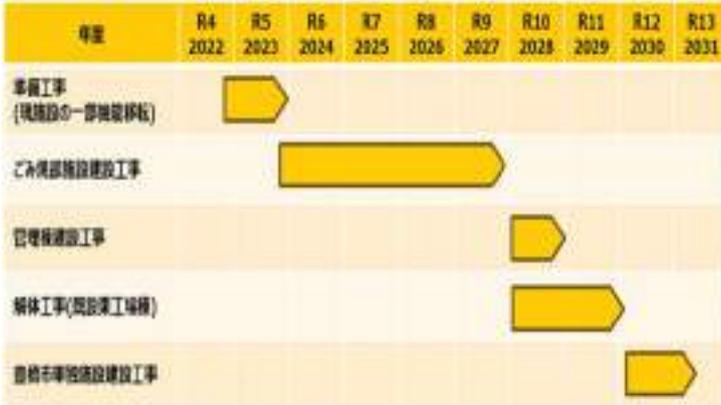
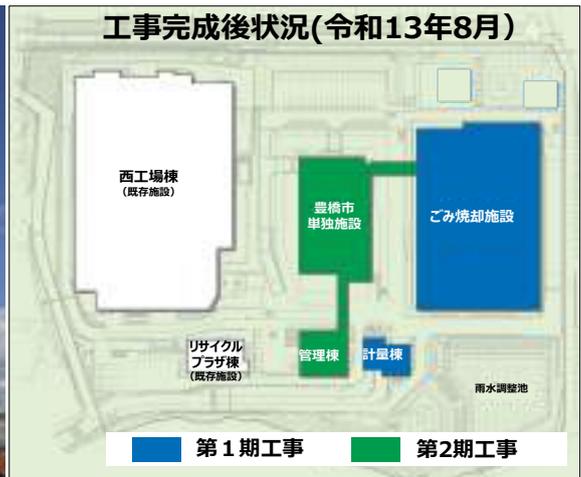
shushugyomu@city.toyohashi.lg.jp

■ 豊橋田原ごみ処理施設整備事業



豊橋田原ごみ処理施設建設工事を着実に進めます

廃棄物の適正で安全・安定的な処理の推進を図るため、環境にやさしく、エネルギーと資源を有効に活用できる『豊橋田原ごみ処理施設』の建設を進めます。



ポイント

1. 工事概要

資源化センターの敷地内において、現施設を稼働させながら第1期工事でごみ焼却施設、第2期工事で豊橋市単独施設・管理棟の建設を安全に進めます。

2. 施設概要

- ごみ焼却施設 (一般廃棄物処理施設)
417 t/日 (208.5 t/日 × 2炉)
シャフト式ガス化溶融炉
- 豊橋市単独施設
危険ごみ処理設備、受入選別設備、剪定枝等処理設備

3. 令和8年度の主な工事内容

ごみ焼却施設のプラント機械・電気工事、外壁等仕上げ工事等

事業費

116億310万円

お問い合わせ

施設建設室

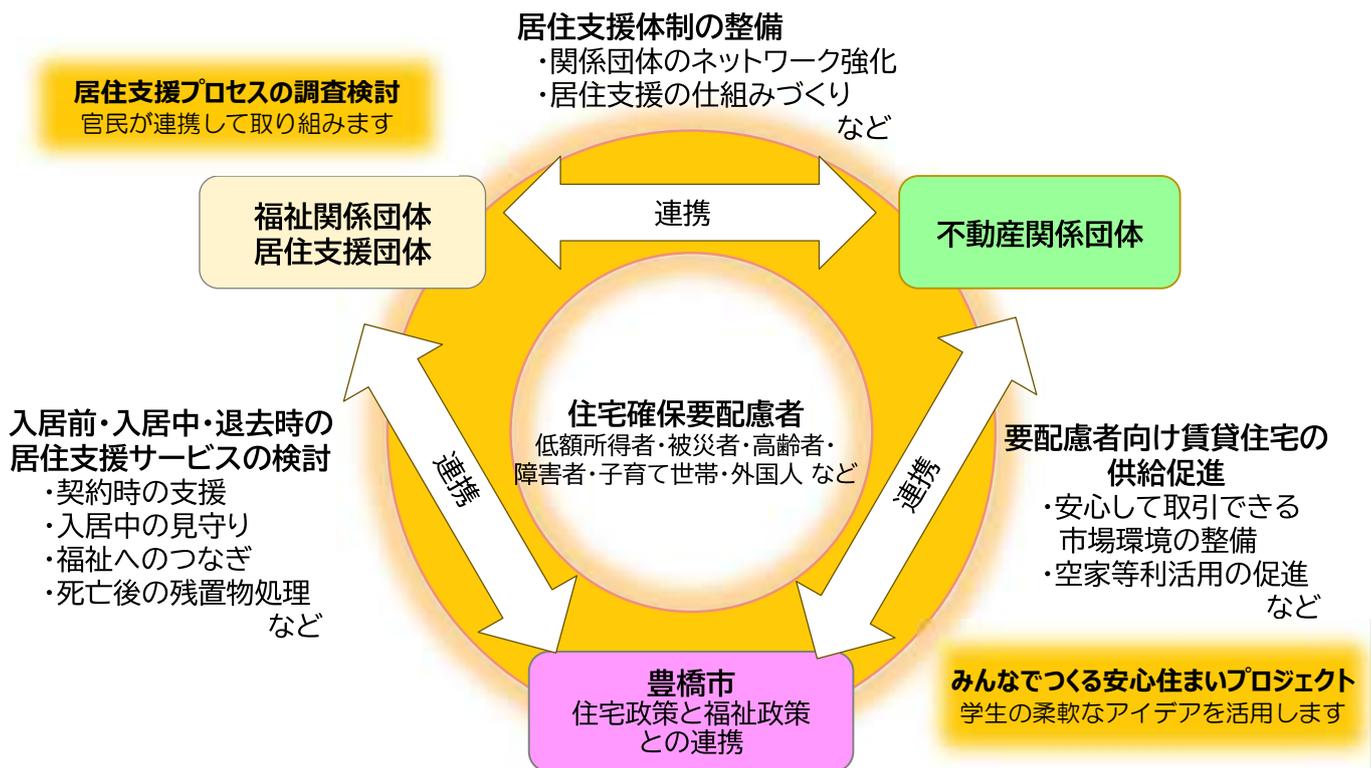
(0532) 38-0777

shisetsukensetsu@city.toyohashi.lg.jp



住まいの確保に配慮が必要な方が 円滑に入居できる環境を整備します！

住まいの確保に配慮が必要な方が、賃貸住宅へ円滑に入居するための支援ニーズに対し、住まいを貸す側と借りる側の双方が安心して取引できる賃貸住宅の供給を促進するとともに、住宅・福祉の関係団体等が連携した居住支援体制の整備を推進します。



ポイント

- 1. みんなでつくる安心住まいプロジェクト 新規**
 - 産学官が協働して、居住支援をテーマとした地域課題に取り組みます。
 - 空家等を活用した安価で魅力的なりフォームのモデルプランを、学生の柔軟なアイデアにより提案します。
 - 住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の供給を促す、空家等利活用のきっかけづくりを行います。
- 2. 居住支援プロセスの調査検討 新規**
 - 住宅確保要配慮者が、賃貸住宅へ円滑に入居するための居住支援の仕組みづくりに、官民が連携して取り組みます。
 - 住まいの確保に関する相談者に対応した有効な支援等を調整し、適切な住まいを紹介する居住支援プロセスの構築をめざします。

事業費

118万円

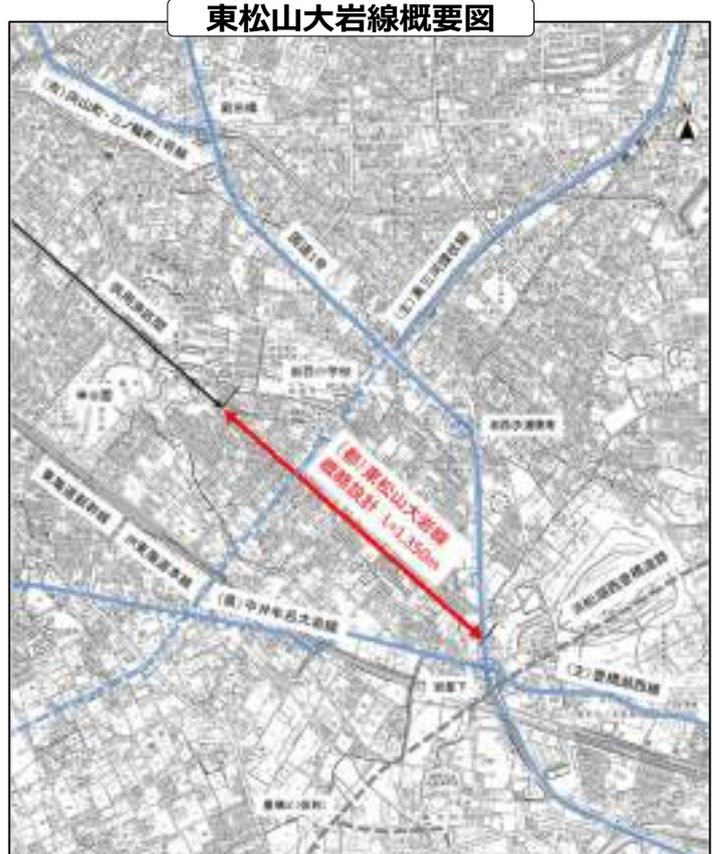
お問い合わせ

住宅課
(0532) 51-2602
zyutaku@city.toyohashi.lg.jp



快適な暮らしを支える道路をつくります

暮らしやすい環境の創出や産業活動を推進するために、幹線道路の整備を進め、安全性や快適性、まちの防災性を向上させるとともに、道路ネットワークの強化を図ります。



ポイント

1. 幹線市道の整備

・明海町・老津町28号線

明海地区産業基地から国道259号植田バイパスまでを整備することで、臨海工業地域の交通渋滞を緩和し、物流ネットワーク及び成長基盤の強化を図ります。令和8年度は、引き続き道路改良工事、橋梁上部工事、橋梁床版工事を進めます。

2. 都市計画道路の整備

・東松山大岩線 **新規**

地域の安全確保及び国道1号などの周辺道路の渋滞緩和を図るため、東松山町と大岩町を結ぶ都市計画道路の概略設計を実施します。

事業費

9億9,147万円

お問い合わせ

道路建設課

(0532) 51-2520

dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp



松葉公園地下駐車場の改修を行います

松葉公園地下駐車場の老朽化に対応するための改修を行い、施設の安全性及び利便性の向上を図ります。

▶ 内容

長寿命化計画に基づく、駐車場の改修工事と設備修繕を実施

<主な項目>



入出庫路の改修



※駐車枠のイメージ

子育て応援駐車枠の新設



電気設備の更新

▶ 工期 令和8・9年度（2か年）⇒ 駐車場の長期営業休止

スケジュール（予定）



ポイント

1. 施設の概要

- 施設名：松葉公園地下駐車場
- 所在地：豊橋市萱町地内
- 構造：鉄筋コンクリート造 地下2階

2. 総事業費

約2億6千万円

3. 営業休止期間（予定）

令和8年秋以降、松葉公園地下駐車場を全面営業休止します。その後、工事等の進捗により、期間の途中から一部営業を再開する予定です。

4. 子育て応援駐車枠の新設 新規

駐車スペースが広くて使いやすい子育て応援駐車枠を新設し、子育て世帯がより安全に利用できる駐車場をめざします。

事業費

1億7,310万円

お問い合わせ

土木管理課

(0532) 51-2507

dobokukanri@city.toyohashi.lg.jp

■ 配水管整備事業・ストックマネジメント事業



古くなった水道管・下水道管の更新を推進します

水道管・下水道管の老朽化による断水・濁水や道路陥没を防ぐために、更新工事を計画的に進めます。

水道



布設替工事の様子

老朽化・漏水多発管路を優先



更新前の水道管

錆など腐食により古くなった管



更新後の水道管

耐用年数の長い管に更新します

下水道



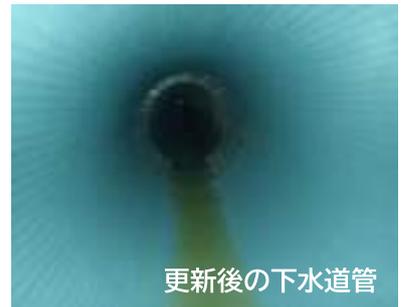
* 全国特別重点調査の様子

腐食状況等を潜行目視などで確認



更新前の下水道管

浸入水が吹き出ている



更新後の下水道管

古い管の内側に新しい管を作ります

ポイント

1. 水道管・下水道管の現状と対策

水道事業・下水道事業ともに、高度経済成長期等から布設してきた管の多くが更新時期を迎えつつあります。水道管・下水道管の老朽化は、断水・濁水や道路陥没につながるおそれがあるため、更新工事等の老朽化対策を推進します。

2. 令和8年度事業の概要

区分	内容	事業費
(1) 配水管整備 [水道]	管径：Φ50mm～300mm 管延長：2,988m 配水管布設替工事 他	4億2,740万円
(2) ストックマネジメント [下水道]	管径：Φ200mm～□1,800×1,800mm 管延長：4,369m (うち全国特別重点調査* 209m) 拡充 老朽管更生工事 他	10億6,560万円

事業費

14億9,300万円

お問い合わせ

上下水道局水道管路課 [1,2(1)]

(0532) 51-2725

suidokanro@city.toyohashi.lg.jp

上下水道局下水道整備課 [1,2(2)]

(0532) 51-2770

gesuiseibi@city.toyohashi.lg.jp

* 全国特別重点調査 …
令和7年1月に埼玉県で発生した下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没を受け、国交省の要請により内径2m以上かつ平成6年度以前に設置・改築された下水道管を対象とした調査

行政のデジタル化推進

デジタル化を推進し 行政サービスの利便性と業務効率の向上を図ります



オンラインで申請や契約締結を行うことができるサービスを提供し、市民サービスの向上と業務の効率化を一体的に進めます。

消防関係申請のオンライン化



電子上で審査



電子データを基に現地検査



火災予防業務のデジタル化



電子契約の導入



建築行政DXの推進

ポイント

1. 火災予防業務のデジタル化 **新規**

消防法に基づく各種申請をオンライン化するとともに、電子審査及び各種検査資料のデータベース化を進めることで、申請者の利便性向上と火災予防業務の効率化を図ります。

2. 電子契約の導入 **新規**

本市が締結する契約の一部について、紙の契約書に押印することに代えて、電子データで作成された契約書に電子署名を付与することで契約を締結する電子契約を導入し、市と事業者双方の業務効率の向上を図ります。

3. 建築行政DXの推進 **新規**

行政手続きのオンライン化を見据え、建築確認申請などの情報を一元化したデータベースを整備し、市民の利便性の向上と窓口業務の効率化を図ります。また、アスベストを使用している建築物の実態把握にも活用します。

事業費

4,028万円

お問い合わせ

予防課 [1]

(0532) 51-3120

yobo@city.toyohashi.lg.jp

契約検査課 [2]

(0532) 51-2150

keiyakukensa@city.toyohashi.lg.jp

建築指導課 [3]

(0532) 51-2588

kenchikushido@city.toyohashi.lg.jp



【窓口改革】

より利便性の高い窓口サービスをめざします

窓口サービスの利便性を高めるため、おくやみ手続きサポートの拡充を行うほか、マイナンバーカード関連の一部手続きについてリモート申請窓口を導入します。

おくやみ手続きサポートの拡充

(令和8年10月～)

おくやみコーナーの
予約枠の拡大

1日の最大予約枠
6件→7件
(年間約340件増)

サポートの必要性や時間的制約などのニーズに合わせた選択肢の提供

おくやみコーナー



庁内各窓口

市民課

コールセンター、WEB
手続き案内サービス(※)

※民間サービスを導入予定
(令和8年4月～)

マイナンバーカード
リモート申請窓口の導入

(令和8年7月～)



市民課にある専用端末から
オペレーターに接続

こちらで申請書へ
代理入力します。



オペレーターが、顔写真の撮影からWEB
申請の必要事項入力まで全面サポート

(対応可能業務)

- ・マイナンバーカード申請受付
(※マイナ免許証の継続利用申請を含む。)
- ・マイナ保険証の紐づけ支援
- ・公金受取口座の登録支援
など

ポイント

1. おくやみ手続きサポートの拡充 **拡充**

- ・専任職員を増やし、おくやみコーナーの予約枠を1日最大6件から7件とすることで、年間約340件拡大します。
- ・コールセンターとWEB手続き案内サービスの導入により拡充された選択肢から、利用者のニーズに合わせた対応をご案内します。

2. マイナンバーカードリモート申請窓口の導入 **新規**

オンライン上で行うマイナンバーカード関連の一部手続きについて、オペレーターによるリモートでのサポートを受けながら手間なく短時間で手続きできる窓口を導入します。

事業費

379万円

お問い合わせ

市民課

(0532) 51-2269

shimin@city.toyohashi.lg.jp

■ 若手みらい提案事業



若手職員の政策アイデアを事業化します

若手職員の自由で柔軟な発想から生まれたアイデアを、実際の事業として具体化し実施します。

豊橋出身の研究者を育てたい！マニアックなシリーズワークショップを開催します

リアル化石研究体験2026 通常版・SS版 新規



「普通の体験では満足できない！サイエンスが大好き」や「将来化石研究者になりたい」子どもが集まり、専門的な機器や実物化石を使い、実際の研究と遜色のない化石研究体験少人数ワークショップを開催します。

事業費 25万円

全力でお子さま達を化石研究の沼に引きずり込みます！



職員I

<実施内容>

- 三葉虫やアンモナイト実物化石のクリーニング
- 3Dデータやレプリカ制作
- 化石薄片の制作
- 走査型電子顕微鏡による化石の観察分析

	日程	日数
通常版	5～6月の週末	5日間
サマースクール版	8月中旬	4日間

※ 各ワークショップ定員6名

【連絡先】 自然史博物館
(0532) 41-4747 shizenshi@city.toyohashi.lg.jp

豊橋駅地下道を親しみやすくします

レトロな豊橋駅地下道案内看板設置 新規



豊橋駅地下道（現状）

オリジナルのレトロ調デザインを採用した看板を設置し、豊橋駅地下道を親しみやすくするとともに、利用者の利便性と安全性の向上を図ります。

事業費 72万円

レトロな雰囲気懐かしさを感じてください！

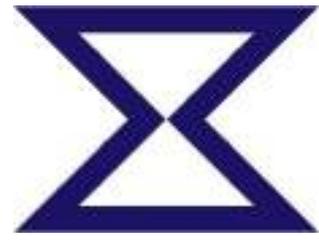


職員K

<実施内容>

- **親しみある地下道**
レトロ調デザインの看板を設置することで、昔懐かしい雰囲気と調和した空間を創出
- **分かりやすい地下道**
多くの施設とつながる地下道に、分かりやすい施設案内看板を設置し、目的地まで案内
- **安全な地下道**
雨などで床面が滑りやすいため、転倒防止などの注意看板を設置し、利用者へ注意喚起

【連絡先】 土木管理課
(0532) 51-2507 dobokukanri@city.toyohashi.lg.jp



豊橋市